

官報

號外

明治三十年三月十三日

土曜日 内閣官報局

○第十九回 帝國議會 貴族院議事速記錄第十八號

明治三十年三月十二日(金曜日)午前十時三十二分開議

議事日程 第十八號 明治三十年三月十二日

午前十時開議

第一狩獵免許稅徵收ニ關スル法律案

第一讀會ノ續(特別委員長報告)

第二作業會計法中改正法律案(政府提出衆議院送付)

第一讀會ノ續(特別委員長報告)

第三種牡馬検査法案(政府提出集會及政社法中改正法律案(政府提出衆議院送付)

第一讀會ノ續(特別委員長報告)

第四提出衆議院送付)右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會(前會ノ續)

第五明治二十七年法律第二十三號改正法律案(政府提出衆議院送付)

第一讀會

第六豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出衆議院送付)

第一讀會

第七右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

第八豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出衆議院送付)

第一讀會

第九右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

第十蟲種檢查法案(政府提出衆議院送付)

第一讀會

第十一右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

第十二送付)右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

第十三右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

第十四水害地方地租特別處分法案(衆議院提出)

第一讀會

第十五右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

第十六千葉縣茨城縣境界變更法律案(衆議院提出)

第一讀會

第十七右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

第十八郡制改正法律案(衆議院提出)

第一讀會

第十九右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

第二十府縣制改正法律案(衆議院提出)

第一讀會

第二十一右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

第二十二統計事務擴張ニ關スル建議案(馬屋原彰君發議)

第一讀會

第二十三會計年度改正ニ關スル建議案(梅原修平君外二名發議)

第一讀會

第二十四復祿及復族祿ノ請願

第一讀會

第二十五明治七年以後戰死者遺族弔祭料下賜ノ請願

第一讀會

○議長(公爵近衛篤麿君) 報告ヲ致シマス
明治十二年第三十五號布告廢止法律案

○議長(公爵近衛篤麿君) 此際チヨット御相談ヲ致シタイコトガアリマスルが、唯今委員ノ手ニ在リマス所ノ議案ガ數々アリマス、其外又衆議院ヨリ回フテ來マシタ議案モアリマスル、餘程此議場ニテ議スルコトガ多イノテアリマスルガ議會ノ期日ハ最早十數日ニ迫フテ居リマス、然ルニ規則ニ據リマスレバ議案ノ配付後二日ヲ經マシテ議事日程ニ上ポスト云フコトニナクテ居リマスガ、唯今申シタ通ノ次第アリマスカラ配付シテ其翌日或ハ議事日程ニ上ス必要ガアラウト思ヒマス、併ナガラ規則デアリマスカラ諸君ノ御承認ヲ豫メ受ケテ置キタイト思ヒマス、尤モ今度ノ議會中ダケノコトデゴザイマス

○伯爵大原重朝君演壇ニ登ル
然ラバサウ云フコトニ御心得ヲ願ヒマス、是ヨリ會議ヲ開キマス

○伯爵上杉茂憲君 是ヨリ臺灣銀行ノ委員會ヲ開キタウゴザイマス、人數ニ差支ガゴザイマセケレバ……

○議長(公爵近衛篤麿君) ドウモ少シ差支ヘマスヤウデアリマス、……第一狩獵免許稅徵收ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

(伯爵大原重朝君演壇ニ登ル)

○伯爵大原重朝君 委員會ノ模様ヲ報告致シマス、去ル十日委員會ヲ催シテ政府委員ニ段々質問モゴザイマシタ所ガ過日政府委員ノ述ベラマシタ通稅ノ納メ方ト免狀ノ渡シ方ガ二途ニナクテ居リマスカラ

官民ノ不便ヲ來シテ居ルト云フコトデ、ワレニ附イテノ改正デアリマスカラ、ソレニ附イテ異議ハアリマセヌガ唯法文ノ上ニ附イテ印紙貼用ト云フコトハ……出願書ニ貼用スルト云フコトハ或ハ資格ガムツカシトキハ、ムダニナリハセヌカト云フコトデ、段々話ガアリマシタガ、登錄稅ノ如キモ同様ノコトデゴザイマシテ、實際許可スルト云フ場合ニ印紙ヲ貼用サセルト云フコトデアリマスカラ、一向ムダニナルヤウナコトハ取扱上サセヌコトニナッテ居リマス、出願書ニ貼用サセルト云フコトデ段々修正案モ出マシタガ到底成立チマセヌデ議論モ終ヘマシタカラ可否ノ表決ニ付シマシタ所ガ多數ヲ以テ原案可決スベキモノト決定ヲ致シマシタ、此段御報告ヲ致シマス、尤モ現今ノ所ヲ承クテ見マスレバ免許狀ハ警視廳ニ於テ渡シ又稅ノ方ハ現金ヲ以テ區役所ニ納メルト云フコトニナッテ、或ハ狩獵免狀ヲ受ケテ速ニ出タイト云フ者モ稅ヲ納メケレバ出ラレヌ不便ガアリマスサウデ、ソレ等ノ點ニ附キマシテ極速ニ便利ヲ得ラレマス收稅法デゴザイマスカラ原案通可決セラレシコトヲ望ミマス、右ノ次第デゴザイマスカラ極法文モ簡單デゴザイマスカラ三讀會ヲ省略サレテ直ニ決セラレンコトヲ希望致シマス

〔賛成ト呼フ者アリ〕

○名村泰藏君 唯今委員長ノ報告ノ通ノコトデゴザイマスカラ三讀會省略ノ動議ニ賛成ヲ致シマス

○湯地定基君 賛成

○鈴木傳五郎君 賛成

〔賛成ト呼フ者數名アリ〕

○議長(公爵近衛篤齊君) 大原伯爵ノ讀會省略ニマダ賛成ガ……

○男爵渡邊清君 賛成

○子爵谷干城君 賛成

○子爵由利公正君 賛成

○辻新次君 賛成

○男爵小澤武雄君 賛成

〔賛成ト呼フ者數名アリ〕

○議長(公爵近衛篤齊君) 大原伯爵ヨリ讀會省略ノ動議ガ出マシテ定規ノ贊成ガゴザイマシタ、之ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

三分ノ二以上ト認メマス、本案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤齊君) 大原伯爵ヨリ讀會省略ノ動議ガ出マシテ定規ノ贊成ガゴザイマシタ、之ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

過半數デゴザイマス、次ハ作業會計法中改正法律案政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

〔公爵德川家達君演壇ニ登ル〕

○公爵德川家達君 委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報道ニ及ビマス、去ル九日正副委員長ノ互選ヲ行ヒマシテ翌日委員會ヲ開キマシタ、出席ノ政府委員ニモ質問ヲ致シマシタ末列席ノ委員ノ中ヨリ諸君ノ御手許へ御回シ申シテ置キマシタ通「但以下」ト申ス「以下」ノ二字ヲ「書」ト云フ字ニ修正シタ方ガ宜カラウト云フ動議ガ出マシタ、又外ノ委員カラハ成程「但書」ト云フコトニ

修正シタ方ガ明瞭デ宜シイケレドモ「但以下」トナクテ居クテモ分ラヌコトハナイニ依クテ態々其タメニ衆議院ヘ回スニモ及ブマイカラ衆議院カラ回リマシタ政府原案ノ通ニ可決シテ然ルベシト云フ論モ出マシタケレドモ委員會ノ多數ハ修正ノ方ガ宜イト云フ意見デゴザイマシタ、其理由ハ作業會計法ノ「但以下ヲ刪除ス」トナリマスルト茲ニ列記シテゴザイマスル造幣局以下ノコトマデ刪除スルヤウニチヨクト見エル、ソレデ誤解ガアツテハナラヌカラト云フ修正提出者ノ意見ト委員長ハ聽取リマシタ、併シ委員會ニ於キマシテモ決シテ強ヒテ其意見ヲ主張スル考ハナイノデアリマシテ此後ノコトハ議場諸君ノ御意見次第ニ御任セ申ス考デゴザイマス、是ダケ御報告ニ及ビマス

○伯爵正親町實正君 此案モ簡單ナ案デゴザイマスカラ讀會省略ノ動議ヲ…

○三浦安君 賛成

○伯爵大原重朝君 賛成

○伯爵上杉茂憲君 賛成

○子爵曾我祐準君 賛成

○公爵德川家達君 是ハ修正ニナッテ居クテモ讀會省略ガ出來マスカ

○議長(公爵近衛篤齊君) 是ハ議決デスカラ出來マス

○子爵岡部長職君 之ヲ原案ノ通可決シヤウト云フ考ガアリマスト讀會省略ニ賛成ハ出來マスマイカト思ヒマスガ如何デス

○議長(公爵近衛篤齊君) 左様

○子爵岡部長職君 本員ハ原案賛成ノ意見ヲ持クテ居リマスカラ讀會省略ニ反對シマス

○子爵舟橋遂賢君 本案ノ修正ノ理由ヲ少々委員長ノ御述ベニナッタ所ヲ補テ述ベタトイ思ヒマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 修正ノ理由ヲデスカ

〔子爵舟橋遂賢君「ハイ」ト述〕

演壇デオヤンナサイ

〔子爵舟橋遂賢君演壇ニ登ル〕

○子爵舟橋遂賢君 大體此案ハ極簡單ナ案デゴザイマシテ殊ニ此修正モ尙更簡單デゴザイマスカラ別ニ修正ノ理由ヲ述べナクツモ宜カラウカト實ハ默シテ居リマシタ、所ガ原案維持ノ岡部君ノ御説モゴザンスサウデアリマスカラ聊カ修正ノ理由ヲ暫ク諸君ノ御耳ヲ拜借シテ述べタトイ思ヒマス、修正ヲ加ヘマシタ所ハ即チ此「但以下ヲ刪除ス」ト云フ所更ヘマシテ「以下」ノ二字ヲ削ッテ「書」ト云フ字ヲ加ヘテ「但書ヲ刪除ス」ト云フコトニ致シマシタノデアリマス、其理由ト云フノハ大體此作業會計法ノ第一條ト云フモノハ即チ本文ノ所ハ第一ニ本文ガ斯ウ云フ風ニ書イテゴザイマス「第一條 左ノ作業所ハ其事業ヲ經營スル爲メ固定資本据置運轉資本ヲ置キ作業上ノ收入及其附屬雜收入ハ作業直接ノ費用ニ充ツルコトヲ許シ特別ノ會計ヲ立テシム」

トスウ本文ハアルノデアリマシテヲレカラ其次ニ但書ガ「但務ニ屬スル業間接ノ費用ハ總テ一般ノ會計ニ依ラシム」トスウアルノデアル、ソレカラ記シテアリマスノデゴザンス、所ガ此法案テ以テ原案ニ依リマス即チ中「作業直接ノ費用ニ充ツルコトヲ許シ」ヲ「作業ノ費用ニ充ツルコトヲ許シ」ト改メ但以下ヲ刪除ス」トスウ書イテアルノデアリマス、タカラチヨイト見マスト此「但以下ヲ刪除ス」ト云フコトハ但以下十數字ヲ刪除スルニ止マラナイデ其次ニ一二ノ順序ヲ以テ列記シテアル所ノ作業所モ悉ク刪除シハキテイカト云フ懸念ガ起ルノデアリマス、タカラ此「但以下ヲ刪除ス」ト云フヲ「但書ヲ刪除ス」ト云フコトニ改メタナラバ誰ガ見テモ但書ヲ刪除シテ其次ニ列記シテアル一二ノ作業所ハ刪除シナイト云フコトハ明々白々ニ分ルノデアリマス、デアリマスカラ此「以下」ノ二字ヲ削ッテ「但書ヲ刪除」ト云フコトニ修正致シタイト存ジマスドウカ諸君ノ御贊成ヲ希望シマス○男爵小澤武雄君此唯今ノ修正ノコトニ附イテ政府委員ガ出席ナレバ原案ノ提出ノコトヲ尋ネテ見タイデス、ト申スノハタクタ一字カ二字ノタメニ之ヲ修正スルト云フト衆議院ト協議會モ開カナタテハナラナイト云フ色々手數セアリマスシ此會期モ切迫シテ居ル時デアルカラ原案ヲ出シタ通デ宜シクハナイカト本員ナドハ思ハレルデ、ソレデドウ云フコトデアツカ説明ヲ求メタイ

(政府委員阪谷芳郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(阪谷芳郎君)是ハ但以下ヲ削ルト云フ修正デゴザイマスガ「ドチラニナリマシテモ原案ノ意味ニハ變リハゴザイマセヌ」ノデゴザイマス、此趣意ト申シマスモノハ委員會ニ於テモ辯明致シテ置キマシタガ局長及其屬官ノ費用ト云フモノヲ間接ノ費用トシ技術官以下ノ費用ヲ直接ノ費用トスルト云フ今日ノ區分デアリマシテ極ク手短ニ例ヲ舉グマスト局長ノ用ヒマスル紙墨ハ間接ノ費用デ技術官ノ用ヒ紙ヤ筆墨ハ是ハ直接ノ費用デアルト云フヤウナ區分デゴザイマシテ製造所ノ中ニ二色ニ經濟ヲ立テナケレバナラヌト云フ不便ガアリマス、ソレモ僅カナ金デアリマシテ甚ダ不便デアリマスルカラ此度ハソレヲ皆作業ノ方ニ一緒ニ合セマセウト云フ趣意デアリマス委員會ニ於キマシテハ幸ニ諸君ノ御協賛ヲ得マシタ次第デアリマスガ「但以下」トアルノヲ「但書」ト改メタ方ガ意味ガ明瞭ニナルト云フ御修正ガ出マシタノデソレハ孰ニナリマシテモ原案ノ趣意ニハ變更ハゴザイマセヌ、政府ニ於キマシテハ「但以下」ト書キマシテモ一向差支ハナイト存ジテ居リマス○男爵小松行正君本員ハ委員ノ修正ヲ至當ト思ヒマス、常ニ法文ヲ明ニスルト云フコトハ是ヘ必要ナコトデ人ガ皆ナ見惡イ法文ヲ書イテ置クコトハ能ダナイト思ヒマス、本員ハ度々修正說ヲ出シテモ居リマスガ矢張是ハ委員會ノ修正ノ通ニナリマシテ衆議院ニ交渉致シマシタ所ガ簡單ナコトデアリマスカラ意味ノ變リマセヌコトデゴザイマスカラ矢張同意ヲセラル、コト、思ヒマス、願クハ法文ヲ明ニシタイト思ヒマスカラ修正ノ方ニ可決セラレシコトヲ希望致シマス

ト改メ但以下ヲ删除ス」ト斯ウ書イテアルノデアリマス、ダカラチヨイト見
マスト此「但以下ヲ删除ス」ト云フコトハ但以下十數字ヲ删除スルニ止マラ
ナイデ其次ニ一二ノ順序ヲ以テ列記シテアル所ノ作業所モ悉ク删除シハキナ
イカト云フ懸念ガ起ルノデアリマス、ダカラ此「但以下ヲ删除ス」ト云フノ
ヲ「但書ヲ删除ス」ト云フコトニ改メタナラバ誰ガ見テモ但書ヲ删除シテ其
次ニ列記シテアル一二ノ作業所ハ删除シナイト云フコトハ明々白々ニ分ルノ
デアリマス、デアリマスカラ此「以下」二字ヲ削ッテ「但書ヲ删除」ト云
フコトニ修正致シタイト存ジマストウカ諸君ノ御賛成ヲ希望シマス
○男爵小澤武雄君　此唯今ノ修正ノコトニ附イテ政府委員ガ出席ナレバ原案
ノ提出ノコトヲ尋ネテ見タイデス、ト申スノハタクタ一字カ二字ノタメニ之
ヲ修正スルト云フト衆議院ト協議會モ開カナタテハナラナイト云フ色々ミ手數
セアリマスシ此會期モ切迫シテ居ル時デアルカラ原案ヲ出シタ通デ宜シクハ
ナイカト本員ナドハ思ハレルデ、ソレデドウ云フコトデアツタカ説明ヲ求メ

○議長(公爵近衛篤磨君) 讀會省略ノ發議ガアリ マシタガ賛成ガ足リマセ
 ○鉢木傳五郎君 賛成
 ○武井守正君 賛成
 ○南郷茂光君 賛成
 ○久保田讓君 賛成
 ○男爵渡邊清君 賛成
 ○男爵本多親雄君 賛成
 ○辻新次君 賛成
 ○子爵曾我祐準君 チヨット伺ヒマスガ原案ノ通ニシタイト云フ……「但以
 下」ニシタイト云フ發議ハゴザイマセヌカ
 ○議長(公爵近衛篤磨君) アリマシタ
 ○子爵曾我祐準君 サウスレバ讀會省略ハ成立チマセヌナ
 ○議長(公爵近衛篤磨君) 斯ウ云フ考デアリマス、讀會省略ノ探決ヲシマシ
 テ其上デ委員ノ修正ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマシテ若シモソレガ消滅ス
 レバ原案ノ決ヲ採ル積デアリマス、讀會ガ省略ニナリマスレバ詰リ其手續デ
 行カネペナリマセヌト思ヒマス
 ○議長(公爵近衛篤磨君) 議會省略ニ成規ノ賛成ガアリマシタカラ之ニ賛成
 ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
 ○議長(公爵近衛篤磨君) 起立者 少數
 ○議長(公爵近衛篤磨君) 決ヲ採リマス、第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
 ○議長(公爵近衛篤磨君) 起立者 多數
 ○議長(公爵近衛篤磨君) 過半數デアリマス
 ○公爵徳川家達君 是レヨリ直ニ第一讀會ニ移リマス
 ○議長(公爵近衛篤磨君) 別ニ御發議モナイヤウデスカラ決ヲ採リマス、委
 員ノ修正ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
 ○議長(公爵近衛篤磨君) 直ニ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ガナクバ開キマ
 〔異議ナシト呼フ者アリ〕
 ○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ第二讀會ニ移リマス
 ○議長(公爵近衛篤磨君) 別ニ御發議モナイヤウデスカラ決ヲ採リマス、委
 員ノ修正ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
 ○議長(公爵近衛篤磨君) 多數ト認メマス委員ノ修正ガ成立チマシタ
 ○男爵中川興長君 議事日程ヲ變更シテ直ニ第三讀會ヲ開カレントラ希望
 申マス
 ○子爵小笠原壽長君 賛成
 ○三浦安君 賛成
 ○伯爵大原重朝君 賛成
 ○議長(公爵近衛篤磨君) 直ニ第三讀會ヲ開クト云フ要求ガアリマスカラ御
 異議ガナクバ開クコトニ致申マス
 〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 本案御異議ガナクバ可決ト認メマスガ如何デアリ
マスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ可決ト致シマス次ニ種牡馬検査法案、政府提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

(侯爵松平康莊君演壇ニ登ル)

○侯爵松平康莊君 是ヨリ委員會ノ經過ヲ御報道致シマス、委員會ハ一昨日ト昨日ト兩度ニ開キマシテ出席員モ委員残ラズ出席ニナリマシテ夫ニ審議ヲ遂ゲマシタ次第ニアリマス、此法案ハ馬匹改良上ニ附イテ必要ナルモノニアリマシテ當時夫ニ取締法ヲ設ケラアリマスルケレドモ是ヨリ今更ニ其検査法案ヲ布キマシテ馬匹改良ヲシタイト云フ理由デアリマシテ理由書ニモ書イテアル通デ別段何モ外ニ理由ト云フモノハナインデアリマス、委員會ニ於キマシテハ此大體ニ付キマシテハ別ニ何モ異議ハゴザイマセヌデアリマシタガ委員ノ中ニ二人ダケ此案ニ少シク反対ヲシタ人モアリマスルガ詰リ大體ノコトニ附イテハ異議ナク委員會ヲ可決シマシタ譯デアリマス、ソレニ附イテ少シバカリノ修正ガアリマス、第七條ニ至シテ「五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス」ト云フ所ノ「五圓」ト云フ字ヲ「圓」ニ致シ「五十圓」ト云フノヲ「二十圓」ニ致シタ、其理由ハ五圓デハ餘り高過ルデアラウカラ「圓ニシタラドウデアラウカ、或ハ五十圓デハ高過ギルカラ二十圓ニシタラドウデアラウカト云フ委員ノ修正案が出マシテ政府委員ニモ問ヒマシタ所ガ政府ニ於テモ別ニ異議ハナイト云フコトデゴザイマスカラ其通りニ致シタ譯デアリマス、唯是ダケノ譯デゴザイマス、尙ホ詳シイコトハ政府委員ニ御質問ヲ願フヤウニ致シダウゴザイマス、是ダケ御報道致シマス

○兒玉淳一郎君 尚ホ伺ヒマス、御議論ハ誠ニ結構デアリマス、本員ノ考ヘル所デハソレデハ政府ノ御目的ガ達シナイト思フ簡條ガアル、何トナレバ少シ理由ヲ申サスト分ラヌ議論ヲスルノデハアリマセヌ、疑フ申スノデアリマスカラ暫ク御辛抱ヲ願ヒマス、ソレハ此法律ヲ見ルト馬籍ト云フモノガ書イテナインソレカラ馬ノ舉切法ガ書イテナイン、此ニツコ設ケヌ以上ハ如何ニ政

府ガ此法ヲ設ケルト雖モ少シモ役ニ立タヌ、ソレガナシニ徒ニ一人ヲ罰シタ所ガ益ノナイ話デ誰モ種ヲ持クテ居ル者が種ヲ付ケスト云フコトハ保證セラレマセヌ、故ニ此法案中ニ於テ馬籍ト云フモノト墨切ノ法ヲ設ケザレバ如何ニ罰スルト雖モ政府ノ御目的通ニイクマイト思ヒマス、其邊ハドウ云フ……

○政府委員(藤田四郎君) 御答致シマス、馬籍ノコトハ之ニ何ノ關係モ持ツテ居リマセヌ事柄デアリマス、ソレニ就キマシテハ今調査モ致シテ居リマスルガ此法案ト云フモノニハ何等ノ關係モナク、又其去精衛ノ如キモノモ矢張同シイ事柄デゴザイマシテ自然サウ云フ事柄ガアリマシヤウシ、又ソレ等ノ事ニ就イテモ政府デ考ヘル所ガナイデハアリマセヌガマタ其事ニ就イテノ事柄ヲ此處へ御報告スル時期ニ達セナインデゴザイマス、併ナガラ我邦ノ馬種ハソレニ關係ガナイ事柄ト見テ矢張其制裁ヲ設ケルコトモ亦必要ト思ヒマス、即チ今ノニツノ御話ノ事柄ハ之ニ關係ガナイコト、御覽下スケテ宜シウス改良スルニ就イテハ此事ガ惡ルイト云フコトガナインデアラウト思ヒマス、但ハソレニ加ヘマセヌカ

○政府委員(藤田四郎君) ソレニハ入レマセヌ

○兒玉淳一郎君 尚ホ御伺ヒマスガソンナラバ農商務大臣ガ之ヲ定メルト云フコトデアリマスガ第八條ノ中ニ本員ガ尋ねマシタコトヲ御加ヘニナリマスカ

○兒玉淳一郎君 ソレニハ入レマセヌ

○政府委員(藤田四郎君) 御答致シマス、アナタノ御考ノヤウニ種馬ヲ除クノ外ハ一切擧ヲ切ルト云フヤウナル斯ウ云フ簡條ハ要ラヌノデアリマス、サウ云フ無理ナコトハシナインデアリマスカラ此簡條ガ入用ナノデアリマス、左様御承知ヲ……

○兒玉淳一郎君 ソレデハ本員ハ意見ガ違ヒマス後デ……

○子爵曾我祐準君 序ニ御尋致シマスガ此原案ノ第七條ニ罰金ハ五圓以上五

○政府委員(藤田四郎君) 御答シマス、今日政府ニ於キマシテ兩議院ノ協賛ヲ經マシテ種馬所ヲ設ケ政府ガ官有ノ牡馬ヲ以チマシテ民間ノ適當ナル牝馬

○政府委員(藤田四郎君) 御答シマス、今日政府ニ於キマシテ兩議院ノ協賛ヲ經マシテ種馬所ヲ設ケ政府ガ官有ノ牡馬ヲ以チマシテ民間ノ適當ナル牝馬

○政府委員(藤田四郎君) 唯今ノ御問ニ御答致シマスルガ検査ヲ必要トシ検査ニ合格シナイ馬ヲ種付ケニスルノハイカスト云フ方針ヲ取リマシタ以上ハ之ニ對シテ制裁ヲ附スルノハ已ムヲ得ザルコト、思ヒマス

○兒玉淳一郎君 斯ク御確答ガアツタ以上ハ御尋致シマスが此理由ニ斯ウ云フコトガ書イテゴザイマス、此種馬ニ就イテハ「適當ノ取締ヲ爲シ兩々相待テ始メテ其ノ效果ヲ全フスル」ト云フコトガ書イテゴザイマス、ソレデ今ノ通罰則ヲ設ケテ政府ノ望ノ第七條ノコトヲセヌ時分ニハソレデ兩々相待ッテ效果ヲ全フセラル、ト云フコトハドウ云フ譯デアリマスカ

○兒玉淳一郎君 尚ホ御伺ヒマスガソンナラバ農商務大臣ガ之ヲ定メルト云フコトデアリマスガ第八條ノ中ニ本員ガ尋ねマシタコトヲ御加ヘニナリマスカ

○兒玉淳一郎君 ソンナラバナンデアリマセヌカ、如何ニ種馬ヲ良クシャウヒマス、詰リ良イ馬ヲ捨ヘヤウツルカラ此法が出來ル、ソレガ出來ナケレバ之ヲ捨ヘテモ何モ役ニ立タヌト思ヒマスガ御考ハ如何デス

○政府委員(藤田四郎君) 御答致シマス、アナタノ御考ノヤウニ種馬ヲ除クノ外ハ一切擧ヲ切ルト云フヤウナル斯ウ云フ簡條ハ要ラヌノデアリマス、サウ云フ無理ナコトハシナインデアリマスカラ此簡條ガ入用ナノデアリマス、左様御承知ヲ……

○兒玉淳一郎君 ソレニハ入レマセヌ

○政府委員(藤田四郎君) 御答致シマス、アナタノ御考ノヤウニ種馬ヲ除クノ外ハ一切擧ヲ切ルト云フヤウナル斯ウ云フ簡條ハ要ラヌノデアリマス、サウ云フ無理ナコトハシナインデアリマスカラ此簡條ガ入用ナノデアリマス、左様御承知ヲ……

十圓以下トナツテ居ルノヲ修正案デハ二圓以上二十圓以下ト修正サレタ是ハ如何デゴザイマスカ、當局者デハ修正ノ通デ支ヘナイト御覽ナサルノデス

カ

○政府委員(藤田四郎君) 是ハ現行ノ規則ニ據リマシテハ大抵違警罪ニナツテ居ル、即チ一圓九十五錢以下ノ方ノ制裁ニナツテ居リマス、今日云ハ……凡ソ斯ウ云フ法律ヲ設ケラレマシテ又此種類ノ性質カラ罪名ヲ考ヘマシテ制裁ヲ附ケマスルト言ヒマシタナラバ先づ五圓以上五十圓位ガ適當デナイカト云フヤウナ考カラ本案ハ提出セラレマシタ併ナガラ今マデノ罪ト較ベマシタトキニハ多クハ重キニ失スルコトノ嫌ヒガナイカト云フヤウナ御尋デゴザイマシタカラ其時ニ政府ハ是デモ實際差支ナイダラウト云フコトヲ申上ゲマシタ、餘リ斯ウ云フ種類ノ罪ニ就キマシテハ御承知ノ通或ハ二圓位カラ二十圓位ニナツテ居ルノモ見受ケマスヤウニ思ヒマス、加之普通ノ種付ニ供シマスル馬ガ交尾料トシテ取ルモノハ一圓カラ二圓位ガ普通ノ場合デアリマシテソレカラ上ヲ取ラウト云フトキハ餘程良イ種馬デナイト其上ノ交尾料ヲ取ルト云フコトハ出來ナイノデアリマス、故サウ云フヤウナ良イ種馬ヲ持ツテ居リマスレバ無論是ハ合格スル所ノ馬デゴザイマスカラ其罪ヲ犯スト云フコトハナイト考ヘマス

○子爵曾我祐準君

尙ホ御尋シマス、一回ノ種付ハ成程御説ノ通二圓ソコラデアリマセウガ何回モ種付シタラドウナリマスカ、二圓ヅツニシテ十回種付ヲヤルト二十圓取ラレルサウスルト五圓ヤ三圓ハ罰金ヲ取ラレルモノト見込

若シ又サウ云フモノガ後ニ至リマシテ證據ガ舉ラストキニハ致方ゴザイマセシデ惡ルイコトヲスルヤウナ弊害ハアリマスマイカ

○政府委員(藤田四郎君) 別段サウ云フヤウナルコトハナイト感ジテ居リマス、斯ウ云フヤウナモノハ分リマスレバ直クソレニ依テ處分スルノデアル、

若シ又サウ云フモノガ後ニ至リマシテ證據ガ舉ラストキニハ致方ゴザイマセシ後ノ御説明デハ何回デモ構ハヌヤウニモ聞エマスガ如何ナル方ニ此法律ト云フ金ハ出シハ致シマセヌヤウニ考ヘテ居リマス

○子爵曾我祐準君 此法律ノ精神ハナンデスカ、一回ニ五圓以上五十圓ト云フノデアリマスカ、十回ヤツテモ是デスルト云フノデアリマスカ、ソコガ少シ分ラス先刻ノ御説明ノヤウダト一回毎ニ此罰ヲ付スルト云フヤウニモアルシ、後ノ御説明デハ何回デモ構ハヌヤウニモ聞エマスガ如何ナル方ニ此法律ハ御極メニナツテ居リマスカ

○政府委員(藤田四郎君) 御答致シマスルガ是ハ刑法ノ總則ニ依リマスルノデゴザイマスルカラ矢張自然數罪俱發ノ例ニ依ルコトニナルデゴザイマセウ

○子爵曾我祐準君 俱發ノ例カ

○政府委員(藤田四郎君) 左様

○男爵船越衛君 此法案ハ大體私ハ贊成ナンデゴザイマスガ前會ニモ御尋シタガ舊牧場ナドニハ今日ニ至ツテモ澤山牝牡共ニ放シテゴザイマスガソレモ此間ハナイト云フヤウナ御答デゴザイマシタガ此房州ノ嶺間或ハ三重縣ノ牧場ノ名ハ忘レマシタガ大野郡ト云フ海濱ニ牧場ガアル、ソレカラ北海道

ハ無論ノコトデアリマスガソコ等モ是デ直ニ制裁スルト云フコトハ隨分行レバ宜シイガ俄ニ行レマイト思ヒマス、サウ云フ所ハドウカ取除法ガナクテハナラス、併ナガラソンナラバソレ程用ニ立タヌモノハ丸デ除イテシマフト云フ論モアルカモ知レマセヌガサウモ行カズ、隨分民間デハ肥料ヲ踏マシタ

テ居ル、即チ一圓九十五錢以下ノ方ノ制裁ニナツテ居リマス、今日云ハ……凡ソ斯ウ云フ法律ヲ設ケラレマシテ又此種類ノ性質カラ罪名ヲ考ヘマシテ制裁ヲ附ケマスルト言ヒマシタナラバ先づ五圓以上五十圓位ガ適當デナイカト云フヤウナ考カラ本案ハ提出セラレマシタ併ナガラ今マデノ罪ト較ベマシタトキニハ多クハ重キニ失スルコトノ嫌ヒガナイカト云フヤウナ御尋デゴザイマシタカラ其時ニ政府ハ是デモ實際差支ナイダラウト云フコトヲ申上ゲマシタ、餘リ斯ウ云フ種類ノ罪ニ就キマシテハ御承知ノ通或ハ二圓位カラ二十圓位ニナツテ居ルノモ見受ケマスヤウニ思ヒマス、加之普通ノ種付ニ供シマスル馬ガ交尾料トシテ取ルモノハ一圓カラ二圓位ガ普通ノ場合デアリマシテソレカラ上ヲ取ラウト云フトキハ餘程良イ種馬デナイト其上ノ交尾料ヲ取ルト云フコトハ出來ナイノデアリマス、故サウ云フヤウナ良イ種馬ヲ持ツテ居リマスレバ無論是ハ合格スル所ノ馬デゴザイマスカラ其罪ヲ犯スト云フコトハナイト考ヘマス

○子爵曾我祐準君 尚ホ御尋シマス、一回ノ種付ハ成程御説ノ通二圓ソコラデアリマセウガ何回モ種付シタラドウナリマスカ、二圓ヅツニシテ十回種付ヲヤルト二十圓取ラレルサウスルト五圓ヤ三圓ハ罰金ヲ取ラレルモノト見込

若シ又サウ云フモノガ後ニ至リマシテ證據ガ舉ラストキニハ致方ゴザイマセシデ惡ルイコトヲスルヤウナ弊害ハアリマスマイカ

○政府委員(藤田四郎君) 別段サウ云フヤウナルコトハナイト感ジテ居リマス、斯ウ云フヤウナモノハ分リマスレバ直クソレニ依テ處分スルノデアル、

若シ又サウ云フモノガ後ニ至リマシテ證據ガ舉ラストキニハ致方ゴザイマセシ後ノ御説明デハ何回デモ構ハヌヤウニモ聞エマスガ如何ナル方ニ此法律ト云フ金ハ出シハ致シマセヌヤウニ考ヘテ居リマス

○子爵曾我祐準君 此法律ノ精神ハナンデスカ、一回ニ五圓以上五十圓ト云フノデアリマスカ、十回ヤツテモ是デスルト云フノデアリマスカ、ソコガ少シ分ラス先刻ノ御説明ノヤウダト一回毎ニ此罰ヲ付スルト云フヤウニモアルシ、後ノ御説明デハ何回デモ構ハヌヤウニモ聞エマスガ如何ナル方ニ此法律ト云フ金ハ出シハ致シマセヌヤウニ考ヘテ居リマス

○政府委員(藤田四郎君) 稍々問題外ノコトデアリマスガ丁度御尋ガゴザイマシタカラ申上ゲマスガ今馬籍ノコトニ附イテハ調査致シテ居リマス、產馬地方ト產馬地方外ニ於キマシテ大變ナル地方ノ事情が違ヒマシテ容易ニ之ヲ行フト云フコトハ出來ナイカト思フ、併ナガラ產馬地方ニ於キマシテハ御承

知ノ通隨分馬ヲ野原ニ放シテ居リマスヤウナコトデゴザイマスカラ馬籍ヲ置イテ貴ヘバ自然盜難等ヲ防グト云フコトモゴザイマスルカラソレガタメニ非常ニ希望ヲシテ居リマス、併ナガラ又他ノ地方ニ於テハ丁度反對ノコトニナリマスルノデ隨分コノ人間ノ戸籍サヘ中ミ困難デゴザンスルカラ馬ノ戸籍ト云フモノハ容易ナラスコト、思ヒマシテ今ニ未ダ何レトモ其一定ノ方針ハゴザイマセヌ

○議長(公爵近衛篤磨君) 別ニ御發言ガナクバ第二讀會ニ移ルヤ否ヤノ決ヲ

採リマス、第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○侯爵松平康莊君 直ニ第二讀會ヲ開カンコトヲ希望致シマス

○子爵小笠原壽長君 賛成

○子爵本莊壽亘君 賛成

○子爵三浦安君 賛成

○子爵板倉勝達君 賛成

○議長(公爵近衛篤齊君) 第二讀會ヲ直ニ開クベント云フ動議ガ出マシテ贊成ガアリマシタ直ニ第一讀會ヲ開クコトニ御異議ガナクバサウ致シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ

○男爵小松行正君 チヨット伺ヒマスガ委員ノ修正ノ通ニ可決ニナリマシタ

○議長(公爵近衛篤齊君) 今第二讀會ヲ開クヤ否ヤノ決ヲ採ッテ二讀會ニ移ツタノデゴザイマス

○男爵小松行正君 是レカラ決ヲ御採リナサルノデスカ

○議長(公爵近衛篤齊君) サウデス、此委員ノ修正ハ未ダ何モ關係ハナイ第一條ヨリ第六條マデ問題ニ供シマス、朗讀ヲ致サセマス

(阪本書記官朗讀)

種牡馬検査法

第一條 牡馬ハ此ノ法律ニ依リ検査ヲ受ケ合格シタルモノニアラサレハ種付ケニ使用スルコトヲ得ス

第二條 検査ニ合格シタル種牡馬ニハ軀肢ノ一部ニ烙印シ其ノ所有者ニ證明書ヲ下付スヘシ

第三條 証明書ノ效力ハ満一箇年トス

前項期限内ト雖疾病其ノ他ノ事故ニ因リ種牡馬ニ不適當ナリト認メタルトキハ證明ノ效力ヲ停止シ若クハ之ヲ取消スコトアルヘシ

第四條 検査ニ關スル費用ハ國庫ノ負擔トス

第五條 此ノ法律ハ官廳所有ノ種牡馬ニ適用セス

第六條 學術研究ノ爲メ牡馬ヲ種付ケニ使用セントスル者アルトキハ地方長官ハ農商務大臣ノ認可ヲ經特ニ其ノ種付ケヲ許可スルコトアルヘシ

○議長(公爵近衛篤齊君) 第一條ヨリ第六條マデ御異議ガナクバ原案ニ決シマス

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者多シ

○議長(公爵近衛篤齊君) 次ニ第七條ノミヲ問題ニ供シマス

(阪本書記官朗讀)

第七條 検査ニ合格セサル牡馬又ハ證明ノ效力ヲ失ヒ若クハ停止セラレタル種牡馬ヲ種付ケニ使用シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

○男爵渡邊清君 本員ハ原案ノ通ガ宜カラウト思フ一體此法案ハ餘程地方ノ事情ヲ參酌シテ先刻或ル委員ノ言ハレタヤウニ馬籍ノコトモ其他ノコトモ餘程嚴重ニセネバナラヌノデアルケレドモ地方ノ状況ヲ斟酌シ寛大ニ見通シテ案ヲ立テラレタモノト思ヒマス、然ルニ之ヲ取締ルニハ此七條ガ第一デアラ

○議長(公爵近衛篤齊君) 次ニ第七條ノミヲ問題ニ供シマス

ウト思ヒマス、此點ニ附イテハ兎角此位ノ罰金ガアツテ宜カラウト思ヒマス、ドウカ此方ハ原案ノ方ヲ贊成致シマス

○子爵曾我祐準君 渡邊サンノ原案維持トハ私ノハ少シ違セマスガ、願ハクハ贊成スル者デアリマス、併ナガラ一十圓ト云フノニハ不同意ヲスル者デアリマス、先刻政府委員ニモ尋ねマシタガ、此法ヲ犯シテノ種付ケハ一回ニ止マラスト云フコトデアリマスカラ、良イ馬ナンゾニナリマスト、一回ノ種付ニ十圓ダノナゾト云フテ取ルコトガアリマスカラ、三四回モ法ヲ犯シテ種付ヲシテ得ヲ取ルト云フコトニナラウト思ヒマス、馬ハ盡ク良イ馬バカリデハナイ、極ク惡イ馬モアルカラ、一圓ヨリ始マルノハ是ハ委員ノ修正ニ贊成ヲスルノデアルガ、併ナガラ上ハ五十圓ニ止メテ置ク方ガ宜カラウト思ヒマス、今渡邊男爵ノ言ハレタ通、苟モ法ヲ立ツル以上ハ其取締ハ十分ニスルヤウニナクテハナラヌ、五十圓ト云フコトニ地域ヲ廣クシテ置クト三十圓四十圓或ハ二十圓適宜ニ此法ニ依シテ處分スルコトガ出來マスカラ本員ハ更ニノ修正動議ヲ提出シマシテ、二圓ト云フ字ハ修正案ニ贊成シマスサウシテ五十圓ト云フ所ハ原案ニ贊成シマス、此動議ヲ提出致シマス

○男爵船越衛君 唯今曾我君カラ第七條ノ修正案ガ出マシタガ、私モ丁度其考ヘデ居リマシタニデ大ニ贊成ヲ致シマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 貞我子爵ニ贊成デスカ

○男爵船越衛君 左様

○男爵渡邊清君 本員モ成程考テ見ルト曾我子爵ニ同感デゴザイマスノズ

趣意ハ同ジコトデアツテモ二圓ト云フコトガアレバ土地柄ニ依クテ其方が相當デアラウト思ヒマス、故ニ最前ノ説ヲ修正シテ曾我子爵ノ御論ヲ贊成致シマス

○子爵本莊壽亘君 チヨット私ハ曾我子爵ニ御質問致シマスガ、此種付シタ馬ガ十圓宛或ハ三回モ取レバ三十圓デアル、ソレニ罰金ガ瑣細デアルト法ヲ犯シテモ利ガアルト云フ御話デアリマスガ、ソレハ刑法ノ總則ニ從シテ犯罪ニ依シテ得タ金デアリマスカラ追徵ニナルダラウト思ヒマスガソコハドウ云フ御考ヘデアリマスカラ

○子爵曾我祐準君 私ハ深ク考ヘテ居リマセメガ、追徵ニナルモノデゴザイマスレバ私ノガハ強ヒテ論ハアリマセメガ、其金ヲ取ルコトヲ……其金ハ本

人ノ利得ニナルカト心得テ居リマス

○子爵本莊壽亘君 ソレデハ唯今ノコトヲ政府委員ニ更ニ質問ヲシマスガ、ニハナラナインデスカ

○政府委員(藤田四郎君) 唯今ノデゴザンスルガ、刑法ニ依リマスルト、犯

罪ノ用ニ供シ犯罪ニ依シテ得タル所ノ金ト云フモノハ共ニ追徵ニナルノデスカ、追徵

○議長(公爵近衛篤齊君) 曾我子爵ヨリ修正案ガ出マシタガ、是ハ贊成ノ數ガ少ナウゴザイマシテ成立チマセヌ、委員ノ……

- 男爵藤村紫朝君 贊成
- 磯邊包義君 贊成
- 小林小太郎君 贊成
- 名村泰藏君 贊成
- 小原重哉君 贊成
- 侯爵醍醐忠順君 贊成
- 議長(公爵近衛篤磨君) 贊成
- 西村亮吉君 贊成
- 子爵日野西光善君 贊成
- 男爵楫取素彦君 贊成
- 宮本小一君 贊成
- 澤原爲綱君 贊成
- 森山茂君 贊成
- 根岸武香君 贊成
- 桑田藤十郎君 贊成
- 侯爵細川護成君 贊成
- 澤簡徳君 贊成
- 柴原和君 贊成
- 子爵新莊直陳君 贊成
- 渡邊甚吉君 贊成
- 三木與吉郎君 贊成
- 富田鐵之助君 贊成
- 伯爵清棲家教君 唯今曾我子爵カラ罰金ノコトニ就イテ御修正ガ出マシタ
ガ、委員會デモ二圓以上二十圓以下ト云フコトニ決シマシタノデゴザイマス
カラ、是ハ成ル程曾我子爵ノ御修正モ一應ハ御尤カトモ存ジマスガ、併シ良
イ馬デゴザイマスレバ、種ヲ付ケル、ソレヲ罰金ヲ知リツ、種ヲ付ケテモ罰金
ハ矢張五十圓ガ宜イト云フ御説デゴザイマスガ併シ凡ツ此法律ヲ犯サヌヤウニシヤウト云
ト云フ點ニナリマスレバ、良イ馬デゴザイマスレバナカヽ五十圓位ノ罰金
ハ厭ハヌト云フコトニナリマシテ、三百圓ニモ賣レルト云フ馬デゴザイマス
レバ、ヨシ此罰金ノ制裁ヲ以テカラニ是非此法律ヲ犯サヌヤウニシヤウト云
フコトハ底到五十圓位ノ金デハ出來又ト云フ考デゴザイマス、ソレ故ニ委員
會ニ於テハ今日デハ過料ニナツテ居ル所ヲ此法律ヲ罰金ニスルト云フノデア
リマスカラ二圓以上二十圓以下ノ罰金ガ宜イト云フ趣意ヲ以テ委員會ハ修正
シタノデゴザイマスカラ尙ホ御参考マヂニ一應申上ゲマス
- 議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ順序ニ決ヲ採リマス
- 村田保君 議長……
- 議長(公爵近衛篤磨君) 採決ノ場合デスガ何カ變ツタ御説モゴザイマス
ナラバ……
- 村田保君 本員ハ質問ヲ致シタイ、此場合デハ御許シニナリマセヌカ
- 議長(公爵近衛篤磨君) 質問ナラ宜シウゴザイマス

○村田保君 實ハ本員ハ此他ニ質問ヲ致シタイコトガゴザイマシタガ、據ロ
ナク私ハ他所ニ引ッ張ラレマシテ時機ヲ失ヒマシタカラ如何トモ致方ハゴザ
イマセヌガ、此第七條ニ此罰則ガゴザイマスルガ、罰則ガマダ此他ニモアリ
ハシナイカトチヨット思フノデ、例ヘテ見マスルト云フト第二條ノ此検査ニ
合格シタル馬ニハ烙印ヲスルト云フヤウナコトガアリ、或ハ是ヲバ自分デ以
テサウ云フ烙印ノヤウナモノヲ捺ヘテサウシテ其マア質ヲスル、質ヲスルト
云フヤウナコトガ中ニハアルダラウト思ロマス、斯ウ云フ嚴シイ検査デゴザ
イマスルト、検査ニ出テハナカヽナラヌカラ、サウカト云シテ何カ印ガナ
クッテハ種馬トスルコトガ出來スカラ中ニハサウ云フコトヲスル者モアリサ
ウナモノト思フノデ、サウ云フ烙印ノヤウナ形ノモノヲ捺ヘル者ガアリサウ
ナモノト思フノデスガ、サウ云フ違犯ヲ致シマシタ者ハ此罰ノ中ニ見エマセ
スガ、サウ云フモノハ如何致シマスカ、チヨクトソレヲ伺クテ置キタイ
○政府委員(藤田四郎君) 御答ヲ此所カラ致シマスルガ、此烙印ニ就キマシ
テハ御尤デゴザイマスケレド、實際ノ場合ニ於キマシテ一旦免狀ヲ得マシタ
所ノ者ガ即チ烙印ヲ受ケテ居リマスルノデアリマス、然ルニ或ハ其所有主ノ
都合ニ依リマシテモウ其次ノ年ニ種馬ニシナイト云フ場合モアリマス、其次
ノ場合ニ於キマシテ本人ガ更ニ免狀ヲ受ケマシタ時デアレバ大變都合ガ宜シ
ウゴザイマセウ、更ニ烙キ消シテ致シマスガ、今ノヤウナ場合ニ於テ政府ニ於
テ検査スル者ノ手落モ全ク出來ナイト云フ譯ニハ行キマセヌ、即チサウ烙印
ニ重キヲ置カナイト云フ側デゴザイマス、併ナガラ成ルベク烙印ヲスル積
ニ、尤モ此行ケナイノハ消印ヲスル積デアリマスガ、先ヅ其邊ノコトハ必シ
モ此場合デモ消印ニ非常ニ經費モ掛ケナケレバナラズ非常ニ又人民が迷惑ヲ
感ズルコトガアリマセウト思ヒマスカラ殊更ニ此コトニ附キマシテハ罰例ハ
附ケマセヌノデゴザイマス

○村田保君 本員ノ質問ノ趣意ガ少シク貫徹シテ居ラヌヤウニ思ヒマスカラ
……、本員ノ申スノハサウヂヤナイ、此烙印ヲシナケレバ種馬ニハシラレ
ナオ、所ガ不合格ノモノハ烙印ヲシテ吳レナイ、サウスレバ私ガ馬ヲ持ツテ
居ル、其馬ガ不合格ナラ種馬ニ出來ナイ、ケレドモ隨分内證デヤリタイト云
フ心ガ出ル、牡馬ヲ持ツテ居テ牡馬デ一遍交ハセルト又其期節ニナルト中
シットシティナイ、サヤ氣ガ發シタラ困ル、其サヤ氣ガ起ツタラ困ル、是非内
居ル、其馬ガ不合格ナラ種馬ニ出來ナイ、ケレドモ向フノ受ケル方ガ烙印ガナケレバ受ケナイ
カラ烙印ガ附ケタクナル、烙印ニマヤケタモノガ附ケタクナルカラサウ云フ
犯者ガ出來ル、之ニ罰ガナケレバ或ハ附ケルカモ知レス、之ニ罰ガアレバ怖
イカラヤリマスマイガ、罰ガナケレバヤリハシマスマイカト云フ御尋デアリ
マス

○政府委員(藤田四郎君) 烙印ヲ致シマシタ所ガ此法律ニ依リマシテ罰ガゴ
ザイマセヌ、併ナガラ若シモ其検査ヲ受ケナイ所ノ馬ヲ以テ種ヲ附ケレバ第
七條ニ依テ罰シマス

○村田保君 ソレデハ此烙印ヲ捺ヘマシテモ一向罰ガナイ、例ヘバ僞造シテ
モ罰ガナリ……

○政府委員(藤田四郎君) 此法律デハゴザイマセヌ

○村田保君 サウスルト烙印ハ一體誰ガ捺ヘルモノデアリマス、ソレヲ一つ

伺ヒマス

○政府委員(藤田四郎君) 官デ拘ヘマス

○村田保君 官デ拘ヘル印ヲ偽造シテモ罰ガナイノデスカ、ソレヲ尙ホ伺ヒ

マス

○政府委員(藤田四郎君) フレト同ジ所ノモノヲ拘ヘマスレバ刑法ニ依テ罰

セラレルモノハ罰シマス

○村田保君 無論サウダラウトハ思ヒマスガ、印ハ拘ヘラレヌガ形ヲ拘ヘル

カト云フコトヲ憂フルノデアリマス、ソレデ検査員ヲ地方ニドノ位置キマス

モノガ出來ルタメニサウ云フモノヲ罰シナケレバナラヌコトガ出來ハシナイ

カト云フ

○政府委員(藤田四郎君) 烙印ヲ造ル、唯今ノヤウナ御話ノアル部分ニ附イ

テハ制裁ハゴザイマセヌガソレハ刑法ノ上ニ自ラ其コトハ依リマスデゴザイ

マセウ、ソレカラ検査員ノ數ノ御尋デゴザイマシタガ是ハ凡ソ縣官ト獸醫ト

ソレカラ產馬業者ト此三ツノ者ヲ以テ即チ一つノ検査ノ團體ト爲リマシテ地方長官ノ命ニ依リテ検査ヲスルノデアリマス

○村田保君 ソンナラ一縣下ニ一箇所出來ル譯デアリマス

○政府委員(藤田四郎君) ワレハ土地ニ依リマシテ一箇所デハ往カヌ所モア

リマスカラ或ハサウ云フ組ヲ三ツモ造ルコトガアルカモ知レマセヌ、ソレハ

地方ニ依リマシテ何ハドコクデ検査ヲスルト云フヤウナ便宜ノ方法ヲ以テ

検査スルノデアリマス

○村田保君 検査ヲスルニハ回ツテ歩ルクノデスカ

○政府委員(藤田四郎君) 大抵サウ云フ風ナ方法デアリマス

○松岡康毅君 先刻曾我子爵カラ此罰金ノ數額ニ附イテ修正説ガ出マシテ餘程多數ノ贊成ト云フ聲モ聽エマシタヤウデゴザリマスガ本員ハ此委員ノ修正二圓以上二十圓以下ノ數額ノ修正ニ贊成致ス者デゴザリマス、就イテハ曾我子爵ノ修正ノ趣旨ハ一度ニ五圓モ十圓モ取ル時分ニ罰金位片方ニ積ンデ置イテ幾ラモ犯則スル者ガ出來ルト云フノガ一番ノ骨子デアッタヤウデゴザリマス、併シ是ハ先刻本莊子爵ヨリ質問旁々説明ノヤウナモノガアリマシテ犯罪ニ依シテ財物デアルカラ沒收スルト云フコトハ無論刑法上明文ノアルコトデゴザイマス、十圓取シテモ十圓ハ九ニ沒收サレル、サウンテ二十圓ナリ五圓ナリ二圓ナリノ罰金ヲ取レバ罰金ハソレダケ宍ガ明クノデスカラ決シテ曾我君ノ云ハル、ヤウニ十圓デ済ムカラ罰金ヲ積シテ置クト云フサウ云フ憂ハナイノデゴザイマス、シテ見ルトスウ云フ罰金ナドト云フモノハ高ヲ多クシテ置イテモ取締ガ疎デアッタ時分ニハ效ガナイ、廉クトモ能ク取締ガ附イテ必ラズ罰セラル、ト云フ時ハ犯シ手ガ少クナル、是ハ刑法ノ常デゴザリマス、又産業上ニ附イテスル罰デゴザリマスカラ成ルベクサウ高イモノヲ拘ヘナイデ廉クテモ宜シイカラ締ガ付キサヘスレバ宜シイノデアリマス、是ハ委員ノ修正説ガ至極宜シイヤウニ存ジマスカラ聊カ贊成ノ趣旨ヲ辯ジテ置キマス

○子爵曾我祐準君 唯今松岡君ヨリ私ノ修正説ニ御反対ガ出マシタガ成程先刻松岡君ガ唯今申サレタヤウニ申シマシタ、又實際サウ解シテ居リマス、併先

シ本莊君ノ御質問デ罰金ハ沒收スルコトハ明ニ分リマシタ、併ナガラ此企ツル者ハ五十圓百圓ヲ得ラル、ナラソレヲ欲スルタメニ犯シ手ハ多クナル例ヘテ云ヘバ犯罪シテ犯罪ト云フコトヲ知カテ犯罪スルタメニ五十圓モ百圓モ得ラル、コトナラバ犯罪者ハ益々多クナルニ相違ナイサウ云フ譯デアリマスニ

依ツテ隨分良イ馬ニハ澤山金ヲ出シテモ好ムモノデアリマスニ依ツテ是ハ高クシテ置イタ方ガ犯罪者ハ少イ思フ、中ミ一頭十圓坂レバ十四カケレバ百圓ノ金ガ這入ル隨分此犯罪ハシ易イモノト本員ハ信ズル、犯罪ニ傾キ易イ是ハ

○三浦安君 本員ハ此特別委員ノ一人デアリマスカラ修正案ヲ維持スルコトヲ説明シヤウト存ジマス、唯今松岡君ノ御説明ニ依ツテ本員ガ言ハント欲スル所ハ十分盡サレマシテ未ダ本員ガ云ヒ得ヌ所マデ云ハレマシタ、依ツテ是ハ別段説明ハ致シマセヌガ曾我子爵ガ二度目ニ前説ヲ主張セラレタノカ又變ゼラレタノカ大ニ罰ノ金數ノ輕ルイト云フト儲クデ餘計犯ス者ガ出來ルカラ威シ半分ニ餘計ニシテ置クガ宜シトイト云フ御説ガ出マシタガ是ハ恐クハ前説ノ行届カザル處ヨリ御思達ノアル處ヲ後カラ其説ノ足ラザルタメニ少シク附會ニ過ギタ御説ト存ジマス、後ノ御説デアレバ一向修正案ヲ半分取ツテ原案ヲ半分御取リナサルニハ及バスト存ジマス、前ノ御説ナラバ御説ガ聽エマスガ後トノ御説デアレバドナタモ御贊成ハアリマスマイト思ヒマスカラ因ツテ此事ヲ辯シテ置キマス

○村田保君 私ハ是ハ……

(子爵曾我祐準君) チヨツト御尋致シマスガ……ト述フ

○議長(公爵近衛篤磨君) 曾我子爵、曾我子爵、村田君ニ發言ヲ許シマシタ

○村田保君 私ハ是ハ曾我子爵ノ説ノ方ガ宜シトイト思ヒマス、罰金ト云フモノハ此間ヲ廣クシテ置カナケレバナラヌ、ソレ故ニ必シモソレダケノ罰ヲ置カナケレバナラヌト云フコトハナイト情狀ニ據リマスレバ隨分重イコトデアレバ上ノ方ヲ附ケル、或ハ輕イコトデアレバ下ヲ附ケルコトモアルノデ上ト下トノ間ヲ成ルタケ廣クシテ置カナケレバナラヌ、ソレ故ニ第七條ニシマシタ所ガ一遍種付ケヲシマシタモノモアラシ數回種付ケヲシマシタモノモアリマセウ、其外情狀ノ惡ムベキモノガアルダラウト思ヒマスカラ成ルベク罰金ノ刑ハ間ヲ廣クシテ置カナケレバナラヌ、禁錮モサウデゴザイマス、總テ禁錮ノ刑モ間ノ廣イ程宜イト思ヒマスサモゴザイマセヌト多クシヤウト思ヒマシテモ二十圓ナラ二十圓ト云フコトガアルトソレヨリ上ハドウシテモ仕方ガナイ、本員ナドハ願クハ是ハ百圓位ニシテ置イテ宜イト思ヒマスカラ曾我子爵ニ贊成シマス

起立者

○議長(公爵近衛篤磨君) 少數デゴザイマス、次ニ委員ノ修正ニ就テ決ヲ採

リマス

(「少數」「多數」ト呼フ者多シ)

- 鈴木傳五郎君 今ノハ……
- 議長(公爵近衛篤曆君) 少數ト認メマシタ
- 鈴木傳五郎君 異議ヲ……
- 議長(公爵近衛篤曆君) 然ラバ氏名點呼ヲ行ヒマス
(渡邊甚吉君「チヨウト……私ハ曾我子爵ニ賛成シテ居リマスガ確カニ
少數ト認メマスカラ議會ノ切迫シタ時期ニ無用ノ手數ヲ掛ケルコト
ハ如何デス取消シテハ……」ト述フ)
- 議長(公爵近衛篤曆君) 議長ハ宣告シマシタカラ議會ノ切迫シタ時期ニ無用ノ手數ヲ掛ケルコト
時デモ取消シマス
- 鈴木傳五郎君 ヲレデハ取消シマセウ
- 議長(公爵近衛篤曆君) ヲレデハ次ニ委員ノ修正ニ就イテ決ヲ採リマス、
委員會ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
- 議長(公爵近衛篤曆君) 多數ト認メマス、即チ委員會ノ修正ノ通リ決シマス
ス、次ニ第八條ヨリ第十條マデヲ問題ニ供シマス
- 〔阪本書記官朗讀〕
- 議長(公爵近衛篤曆君) 第八條種牡馬案
- 第八條 種牡馬検査ノ標準及方法検査委員ノ組織其ノ他此ノ法律施行ノ爲
メ必要ノ規程ハ農商務大臣之ヲ定ム
- 第九條 此ノ法律施行以前ニ與ヘタル種牡馬ノ免許ハ其ノ免許期限間効力
ヲ有スルモノトス
- 第十條 此ノ法律ハ明治三十一年四月一日ヨリ施行ス
- 〔山川浩君「異議ナシ」ト述フ〕
- 議長(公爵近衛篤曆君) 第八條ヨリ第十條マデ御異議ガナクバ原案ニ決シマス
- 子爵堤功長君 直ニ第二讀會……
- 〔異議ナシ」ト述フル者多シ〕
- 議長(公爵近衛篤曆君) 然ラバ其通決シマス、然ラバ二讀會ハ是デ終リマシタ
- 子爵伏原宣足君 賛成
- 子爵小笠原壽長君 賛成
- 子爵堤功長君 直ニ第二讀會……
- 〔異議ナシ」ト述フル者多シ〕
- 辻新次君 賛成
- 議長(公爵近衛篤曆君) 直ニ二讀會ノ要求ガゴザリマス御異議ガナクバ
……
- 〔異議ナシ」ト述フル者多シ〕
- 御異議ガナクバ本案第三讀會ハ可決ト認メマス
- 〔異議ナシ」ト述フル者多シ〕
- 政府委員寺原長輝君演壇ニ登ル
- 〔宮本小一君「始メカラモウ一度願ヒマス……」ト述フ〕
- 政府委員寺原長輝君 昨日此衆議院ノ修正案ニ就キマシテ政府ハ之ニ同
意スルコトノ出來ナイ旨條々ヲ一ト通申上ダル積テ第二條ノ末項ダケハ申
上ダマシタコトデゴザイマスガ……
- 議長(公爵近衛篤曆君) 始メカラモウ一度願ヒマス……
- 議長(公爵近衛篤曆君) 其下デゴザイマスガ「選舉權ヲ行フヘ
キ者及選舉權ヲ有スル者ニ限り會同スル所ノ」是レダケノ文字ヲ削除シマス
ト、第一ニハ此法律テ選舉準備ノタメニ開ク所ノ集會ハ前五十日間ダケ之ヲ
集會ハ投票ノ日ヨリ前五十日間ハ云々ト改シタノデゴザイマスガ今現行法ニ
ゴザイマス所ノ此「選舉ノ準備ノ爲ニ」其下デゴザイマスガ「選舉權ヲ行フヘ
キ者及選舉權ヲ有スル者ニ限り會同スル所ノ」是レダケノ文字ヲ削除シマス
ト、第一ニハ此法律テ選舉準備ノタメニ開ク所ノ集會ハ前五十日間ダケ之ヲ
取除ケニ致シマスル所ノ趣旨ニ反シマスルノデゴザリマス、此取除ケヲ致シ
テゴザイマスルノハ選舉ニ直接ノ關係ヲ有スル所ノ被選舉權ヲ有スル者選舉
權ヲ有スル者、是ニ限ッテアルノデゴザリマス、今唯之ヲ取りマシタ日ニナリ
マスレバ何人ト雖モ前五十日間ハ自由ニ選舉準備ノタメトシテ集會ヲ爲スコ
トガ出来ル譯ニ至リマス、是ハ今申シ上ダマス通此方ヲ取除ト致シマシタ所
ノ趣旨ニマサシク相反スル次第デ、又事實上カラ申シ上ダマスレバ此選舉ノ
前後ト申シマスルモノハ多クハ人心ノ激動ヲ生シ易キ所ノ時機デゴザイマス
ル、デ此時機ニ於テハ行政警察上最モ周到ナル注意ト穩當ナル取締ヲ爲サナ
クチャナラヌ必要ナル時機デゴザイマスカラシテ是ハ矢張現行法ノ通ニ此箇
條カゴザイマセネバ甚ダ取締上ニ不便ヲ生ズル次第ゴザイマス、ソレカ
ラ第三條、此中ニ是モ念ノタメニ朗讀致シマス「屋外ニ於テ公衆ヲ會同シ若ハ
多衆運動セントスルトキハ發起人ヨリ二十四時間以前ニ會同スヘキ場所、年
月日時及其ノ通過スヘキ線路ヲ管轄警察官署ニ届出テ認可ヲ受クヘシ」是ガ
パ強ヒテ屋外ノ集會ニ於テ之ヲ爲サナクチャナラヌト云フコトハソノ必要ハ
ナイコト、考ヘマスルノデゴザイマス、是ヲ屋外ニ爲サントスル者ハ多クハ
示威的ノ意味ヲ含ム所ノ集會デアラウト考ヘマスルノデゴザイマス、ソレデ
先ヅ豫メ屋外集會若クハ運動ノ成立マシテ大ニ公衆ヲ騒ガシメ或ハ又他ノ種
ノ目的ヲ有スル所ノモノデアルト云フコトヲ認メガ附キマシタ場合ニハ之ヲ
豫メ許サヌト云フコトハ最モ安寧ノ保護上ニ必要ナルコトデゴザイマス、
其上ニ衆議院ニ於テハ現行ノ第四條、帝國議會ノ開會中ハ議院ヲ距ルニ里以
内ニ於テノ集會ヲ今デハ禁ジテゴザイマスルガ之ヲ削除サレテアリマスル
カラ是ヲ削除セラレマスル以上ハ尙更前申上ダマシタ第三條ノ此認可ト云フ
コトハ最モ必要ヲ生ズル譯ニナリマスデゴザイマス、デオル例證ヲ申上ダ
スレバ或ハ議院ノ近邊ニ於テ種々ナル運動ヲ企テントシタコトモゴザイマス
ルシ、又或所デハ強訴強願ノ目的ヲ達セシガタメニ官衙ニ多衆ノ人ガ喧囂シ
タル例證モ多々ゴザイマスル、デ前申上ダマスル通デゴザイマスルカラ是ハ

最モ現行法通ニ据置ノコトヲ希望スル次第「ゴザイマスル、ソレカラ第五條、現行法デハ第六條ニナリマスル」が此中ニ「官立公立私立學校ノ教員學生生徒」、其次デゴザイマス第四ニ「女子」ト云フコトガゴザイマス、是レ以テ衆議院デハ現行法カラ削除シテゴザイマスルガ、是ハ此法律ノ制定當時社會ノ形狀ニ鑑ミマシテ官立公立私立學校ノ生徒……

〔大體ダケ簡單ニ願ヒマス」ト述フル者アリ〕

女子モ同ク止ヌテアリマスルガ是レ以テ存置ノ必要ガゴザイマス、ソレカラ其末項、前二條ト同シ意味チャゴザイマスルガ矢張「前五十日間ハ選舉權ヲ行フヘキ者及被選舉權ヲ有スル者ニ限り本條ノ制限ニ依ルヲ要セス」ト云フモノヲ削除シテゴザイマスガ、是ハ前申上ゲマシタ理由ト同ジチャゴザイマスルガ、モウ一ツ御参考ニ申上ゲマスルノハ此第五條ニ掲ゲテゴザイマスル現役及召集中ノ豫備後備ノ陸海軍軍人或ハ學校ノ生徒デゴザイマスルガドウカ斯ウ云フ種類ノ者ヲ是ガ削ラレマスルト選舉ニ先ダツ五十日間ハ極ク自在ニ此集會ニ臨ム所ノ不都合ヲ生ズル譯ニナリマス……

〔委員會デヤシタラ宜カラウ」ト述フル者アリ〕

ソレカラ第十八條、現行法ノ二十二條デゴザイマスルガ、是ニハ「社員名簿ヲ備ヘ」ト云フコトガゴザイマス、之ヲ刪ラレマシテゴザイマス、是等ハ最モ此政社ヲ組成スル所ノ要素ト爲ル一ノ名簿デゴザイマスルカラ是レ以テ削除セラレマシテハ甚ダ取締ニ困難ヲ生ズル次第デゴザイマス、以上申上ゲマシタル旨趣ニ依リマシテ是ハ現行法通ニ存置ノコトヲ希望致シマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 一時休憩ヲ致シマス

午前十一時五十九分休憩

○議長(公爵近衛篤脣君) 報告ヲ致シマス

委員長阿片法案特別委員會

副委員長子爵岡部長職君

傳染病豫防法案特別委員會

委員長男爵千家尊福君

副委員長長與專齋君

○議長(公爵近衛篤脣君) 是ヨリ午前ニ引續イテ會議ヲ開キマス

○男爵小松行正君 質問ヲ致シテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤脣君) 宜シウゴザイマス

○男爵小松行正君 政府委員ニ質問ヲ致シマスガ、政府ヨリ御提出ニナリマ

シタ簡條ハ僅デ、然ルニ衆議院デハ一條カラ三十條マデ修正ヲ致シマシタ、ヒマスガ政府ハ唯單ニ修正ニハ不同意デアルト仰シヤルノデゴザイマスカ

〔政府委員寺原長輝君演壇ニ登ル〕

○政府委員(寺原長輝君) 御答申上ゲマス、政府ヨリ衆議院ニ提出致シマシタ簡條ハ丁度御尋ノ通僅三箇條ニ過ギマセヌデゴザイマス、此政府ノ提出案ニ對シテ衆議院ハ修正ヲ加ヘタモノガ即チ唯今本院ニ回サレテ居ル所ノモノデゴザイマス、先刻申述ベマシタル通政府デ同意ヲ表スルコトノ出來ナイ條

項ヲ除キマシテ其他ノ衆議院デ加ヘマシタ所ノ修正ニ對シテハ政府ハ強ロテ差支ハナイ積デゴザイマスカラ、別段之ニ向シテ不同意ヲ表セヌ次第デゴザイマス

○男爵伊達宗敦君 チヨコト政府委員ニ御尋致シタウゴザイマス、私ハ缺席致シテ居リマシテ前ノ説明ハ能ク聽キマセヌデゴザイマシタガ、大體衆議院カラ回サレムノハ修正デハナイ、衆議院カラ赤イ字デ書イタ案ヲ提出シタト云フテモ宜ノデゴザイマスガ、此修正案ハ今ノ御述ノ鹽梅デハ政府ハ別段反対スル御考ハナイト認メマスガ、分ラスケレバモウ一遍言ヒマセウカ

○政府委員(寺原長輝君) 先刻差支ノアル廉ダケハ一ミ申上ゲマシタガ其申上ダヌ簡條ノ外ハ差支ナイ積デゴザイマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 御質問ガナケレバ次ノ日程ニ移リマス

右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○男爵小松行正君 本員ハ大體ニ附イテ衆議院ノ修正ハ如何デアルカ、政府案ヲ否決シテ衆議院カラ出シタヤウナ修正ニナカテ居リマスガ篤ト調査ヲ要シマスカラ……

○議長(公爵近衛篤脣君) モウ今ハ委員ノ選舉ニ移リマシタ
○男爵小松行正君 附キマシテハ委員ノ數アモ殖ヤスベキデアルガ格別サウセズトモ年々歲々此院ニ回ツテ來ルモノデアリマスカラ九名トシテ議長ヨリ指名アランコトヲ……

○伯爵大原重朝君 賛成

○議長(公爵近衛篤脣君) 小松男爵ノ動議ニ御異議ガナケレバ其通ニ致シマス

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

次ハ明治二十七年法律第二十三號改正法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十年三月八日

〔阪本書記官朗讀〕

貴族院議長公爵近衛篤脣殿

(政府委員男爵兒玉源太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(男爵兒玉源太郎君) 此ニ提出ニナリマシタ法律案ハ法律ノ文章

ノ不備ヨリシテ實際ノ活動ヲ妨げル點ガゴザイマスカラ其修正ヲ求メマスノ

デゴザイマス、現行ノ法律ニ於キマシテハ「戰時若ハ事變ニ際シ召集スル在

郷ノ陸軍ノ下士兵卒」トアリマス、之ヲ下士兵卒限ツタタメ在郷ノ將校ニ

此法律ヲ以テ旅費ヲ支給スルニ困難ヲ感ジマス、ソレ故「在郷ノ陸軍軍人」

ト致シマシタ、以前ノ文中ノ其先ニ參リマシテ「支給スヘキ旅費」トノミゴザ

イマシタ、併シ之ニハ附帶致シマシテ事務費ガ要リマス即チ召集ニ關スル事

務費デゴザイマス、之ニ關スル召集諸費ノ箇條ガ落チテ居リマシタデ「支給

スヘキ旅費召集諸費」ト云フ字ヲ加ヘマシタ、其次ニ至リマシテ各市町村長トノミゴザイマシタ、是ハ特別市制ノゴザイマス市ノ區長並ニ戸長若ダハ島嶼ノ浦役人ト云フ者ニ此法律ヲ適用スルコトガ出来マセヌタメニ「市ノ區長茲ニ戸長及之ニ準スヘキ者」ト云フ文字ヲ加ヘマシタニ過ギマセヌデゴザイマス、ドウゾ御贊成ヲ願ヒマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 別段御質問モゴザイマセヌカラ次ノ日程ニ移リマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ)

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○男爵小松行正君 此案モ議長ニ於テ御選定アランコトヲ

○伯爵大原重朝君 贊成

○議長(公爵近衛篤脣君) 是レガ亦議長ニ委託シタイト云フコトデアリマス、御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト述フル者アリ)

次ニ豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案

(阪本書記官朗讀)

豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送候也

明治三十年三月八日

衆議院議長鳩山和夫

貴族院議長公爵近衛篤脣殿

○明治二十五年法律第四號鐵道敷設法豫定鐵道線路中左ノ線路ハ私設鐵道會

社ニ其ノ敷設ヲ許可スルコトヲ得

一 廣島縣下海田市ヨリ吳ニ至ル鐵道

(政府委員男爵鈴木大亮君演壇ニ登ル)

○政府委員(男爵鈴木大亮君) 唯今此案ニゴザイマスル吳、海田市間ノ鐵道

ハ即チ鐵道敷設法中第二條並ニ第七條ニ規定シテゴザイマスル線路デアリマスノデ之ヲ私設ニ致ス願ガ出テ居リマスノデソレニ許可致サウト云フ趣意デ

ゴザイマス、矢張鐵道敷設法中ノ第十四條ニ此敷設法中ニ掲ゲタル線路デ未ダ工事ニ著手セザル線路ヲ私設ニ許可スル場合ニハ議會ノ協贊ヲ經ルヤウニト云フコトニナツテ居リマス、即チ其條ニ依クテ協贊ヲ求メマスル次第

何卒御協贊アランコトヲ希望致シマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 御質問ガナクバ次ノ日程ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○男爵小松行正君 諸君ハ御面倒ダト思ヒマスカラ私カラ……矢張是モ議長ニ於テ……

○議長(公爵近衛篤脣君) 小松男爵ハ何デゴザイマシタ能ク分リマセヌ

○男爵小松行正君 規則第四十七條ニ依リマシテ此法律ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ハ議長ニ選定ヲ委託スルト云フコトヲ……

○子爵谷干城君 贊成シマス

○議長(公爵近衛篤脣君) 小松男爵ノ動議ニ御異議ガナクベ其通ニ致シマス

ス、次ハ蠶種検査法案、政府提出衆議院送付、第一讀會、通牒文バカリラ朗讀致サセマス

蠶種検査法案 (阪本書記官朗讀)

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十年三月八日

衆議院議長鳩山和夫

貴族院議長公爵近衛篤脣殿

(左)議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス

蠶種検査法

第一條 此ノ法律ニ於テ蠶種ト稱スルハ原種及製絲用種ノ越年スルモノヲ謂フ

第二條 原種ハ框製ニスヘシ

第三條 蠶種ハ左ニ掲クル繭ヲ以テ之ヲ製造スルコトヲ得ス

一 二繭以上合同シテ作リタル繭

二 繭屑片薄ナル繭若ハ形狀ヲ失スルコト著シキ繭

三 繭屑薄弱ニシテ繭ノ全量百ニ對シ繭屑ノ量春蠶ニ在リテハ八、夏秋

第四條 蠶種ハ原種ヨリ產生シタル繭ヲ用ナルニ非サレハ之ヲ製造スルコトヲ得ス

第五條 蠶種製造者ハ收繭後及產卵後ノ二期ニ於テ原種ニ在リテハ繭蛾ハ

卵製絲用種ニ在リテハ繭卵ノ検査ヲ受クヘシ

第六條 第三條ニ掲ゲタル繭ハ收繭後ノ検査ヲ經ルマテ之ヲ保存スヘシ

第七條 此法律施行ノ地方ニ於テハ検査合格ノ證印ナキ蠶種ヲ賣渡シ又ハ

讓渡コトヲ得ス

第八條 此ノ法律施行ノ地方ニ於テ必要アリト認メタルトキハ地方長官ハ

農商務大臣ノ認可ヲ經テ此ノ法律施行地以外ニ於テ製造シタル製絲用種ノ買受又譲受ヲ認許スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ卵ノ検査ヲ受ケシムヘシ

第九條 地方長官ハ蠶種検査員ヲ行フトキハ證票ヲ携帶スヘシ

第十條 蠶種検査員其ノ職務ヲ行フトキハ證票ヲ携帶スヘシ

第十一條 蠶種検査員ハ自己若ハ家族ノ製造スル蠶種ノ検査ヲナスコトヲ得ス

内ヲ補助スルコトヲ得

北海道廳及沖繩縣ニ於テハ國庫ノ負擔トス

第十三條 地方長官ハ土地ノ情況ニ依リ農商務大臣ノ認可ヲ經テ此ノ法律

ヲ施行セサルコトヲ得
第十四條 第三條第四條第五條第七條及第八條第二項ニ違背シタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條 第六條ニ違背シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス
第十六條 第九條第二項ニ違背シタル者ハ五十錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第十七條 此ノ法律中蠶種ノ製造及検査ニ關スル規定ハ自家用ノ蠶種ノミヲ製造スル者ニ適用セス

第十八條 學術研究ノ爲農商務大臣又ハ地方長官ノ承認ヲ得蠶種ヲ製造スル者及其ノ製造シタル蠶種ニハ本法ヲ適用セス但シ賣渡スコトヲ得ス

第十九條 檢査方法及此ノ法律施行ニ關スル細則ハ農商務大臣之ヲ定ム

附則

第二十條 此ノ法律ハ明治三十一年四月一日ヨリ施行ス但シ第二條ノ規定ハ此ノ法律施行後一箇年間之ヲ適用セス

第二十一條 明治十九年農商務省令第九號蠶種検査規則ハ本法施行ノ日ヨリ廢止ス

○國務大臣子爵榎本武揚君演壇ニ登ル

○國務大臣(子爵榎本武揚君) 諸君、本案提出ノ理由ハ既ニ理由書ニ其大要ヲ記載致シテゴザイマスル故ニ別ニ縷述スルコトヲ須タメ譯デハゴザイマス

ガ例ニ依リマシテ簡單ニ一言致シマス、各位御承知ノ通蠶絲ハ……チヨット茲ニ蠶絲ト蠶種ト、絲ト種ト音デハ能ク分リ兼ネマスカラ一々申シマスガ此生絲即チ蠶絲ハ我國重要ノ物産デゴザイマシテ而シテ其業ト申スモノハ年々進歩ノ狀況デゴザイマスルが此狀況ノ根源ヲ篤視察致シテ見マスルト品質ノ改良ヲ力メマスルコトハ却テ疎カデゴザイマシテ只管其產額ノ増加ヲ計ルニ汲々ト致シテ居リマスル者ガ大部分ヲ占メテ居リマスルガ故ニ却テ弊害ヲ助

ケ長ズルト云フ傾キガ見エマスル、テ是ハ此蠶種、即チ種デゴザイマスル、種ニ於テ最モ然リト認メマスル、抑、此絲ノ良否ト申スモノハ即チ種ニゴザリマスル故ニ此蠶種ノ良否ハ繭ノ豐凶ト絲ノ良否ニ直ニ影響ヲ及シマスルコトハ申スマデモナヤコトデゴザリマスル、若シ此繭ノ種ガ宜シクナイ時ニハ假令

ラズ甚シキニ至リマシテハ桑ノ葉デアリマス、ソレニ用ヒマスル桑葉ト養ヒ立テマシタル所ノ繭ヲ擧ゲテ殆ド鳥有ニ歸シテシマヒマスルコトガ往々ゴザリマスル、故ニ政府ハ曩ニ明治十九年省令第九號ヲ以チマシテ蠶種検査規則ヲ行ヒマシタル所、頗ル好キ成績ガゴザイマシテ各地方ノ蠶業モ蠶種検査ノ必要ヲ感ジマスルト同時ニ良キ種紙ヲ選バネバナラスト云フ注意ヲ惹起シマシタ、去リナガラ通例製絲用ニ供シマスル種トシテ普通販賣シマスル種紙ノ検査ニ於キマシテハ其検査ノ経費支出上ノ關係ト數多ノ検査員ヲ得難キトニ支ヘラレマシテ善イ事トハ知リナガラ之ガ實施ヲ延ベマシテ今日マデニ至リマシタ、然ルニ蠶種検査ノ希望ト申スモノハ逐年其度ヲ高メテ參リマシテ現ニ各縣ニ於キマシテハ土地ノ情況ト蠶業發達ノ程度等ヲ參酌致シマシテ縣令ヲ以テ蠶種検査ノ方法ヲ設ケマシテ其検査ヲ實施致シテ居リマスルモノガ目下殆ド二十縣ニ達シテ居リマスル、斯様ナ有様デゴザイマスカラ政府ハ當業者ノ希望ト實際ノ狀況ヲ參酌致シマシテ我邦重要ノ物產タル此生絲ノ增

進ヲ圖リマスルガタメニ茲ニ本案ヲ提出致シマシタル譯デゴザイマスル、宜シク各位ノ御協賛アランコトヲ希望致シマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 御質問ガナクバ次ノ日程ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉

○男爵小松行正君 此案ヲ審査スル特別委員モ議長ニ於テ選バレンコトヲ……

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤齊君) 是レ亦小松男爵ノ動議ニ御異議ガアリマセヌケレバ其通ニ致シマス、次ハ鐵道敷設法中改正法律案、第一讀會

○男爵小松行正君 此案ヲ審査スル特別委員モ議長ニ於テ選バレンコトヲ……

(阪本書記官朗讀)

鐵道敷設法中改正法律案
右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十年三月八日

衆議院議長鳩山和夫

貴族院議長公爵近衛篤齊殿

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法中左ノ通改正ス

第二條第一項ヲ左ノ如ク改ム

一 東京府下東京ヨリ同府下八王子山梨縣下甲府及長野縣下諏訪ヲ經テ

西筑摩郡ヨリ愛知縣下名古屋ニ至ル鐵道

第七條第一項ヲ左ノ如ク改ム

(政府委員男爵鈴木大亮君演壇ニ登ル)

○政府委員(男爵鈴木大亮君) 此案ニ記載致シテアリマスル衆議院デ修正致シマセヌ、政府提出ノ方デゴザイマスル、是ハ前期ノ議會ニ於キマシテ既ニ

本院ノ協賛ヲ經マシタル線路デゴザイマス所謂神奈川八王子線ト稱ヘマスル間ノ線路デゴザイマス、衆議院ハ前期ノ議會ニ於キマシテハ政府カラ提出シマシタル神奈川八王子線ヲ否決致シマシタル本院デハ之ヲ可決ニナリマシテ結局兩院協議會ノ上ニ成立致シ兼ネマシタル譯デゴザイマス、拔此線路ニ對シテ政府ノ見マスル所デハ是非此間ノ線路ハ成立チマスルコトヲ希望致ス上カラ、重

ノテ本期ノ議會ニ提出シマシタル次第デゴザイマス、其必要ト申シマスコトハ既ニ前回ニ於テ本院ノ協賛ヲ得マンタコトデゴザイマスカラ今更ニ反覆申述

ベマスルマデモナカラウト信ジテ居リマス、拔此衆議院デ赤イ文字ノ如クニ修正シマシタル趣意ハ段々衆議院ノ特別委員會ニ於テモ餘程政府ノ意思ヲ詳シ

ク申述ベテ見マシタケレドモ特別委員デ修正致シマスル者ノ述ベマスルニハ是ダケ政府ガ中央線ノ起點ヲシテ官設鐵道ト聯接スルノ必要ガアルナレバ八王子カラ神奈川ヘ線路ヲ敷設セズニ直ニ東京ニ敷設スルガ適當デアラウト云

フノ趣意デ即チ東京ヲ起點トシテ東京カラ八王子ニ新ニ敷設スルカ若ハ甲武

鐵道ヲ買收スルカソレハ政府ノ隨意デ宜シイ、免ニ角中央線ノ東ノ端ガ東京ニ達スルヤウニスルコトガ要用デアラウト云フノ趣意カラシテ斯ウ云フ赤イ

文字ノ如クニ衆議院デ修正ニナリマシタル次第デゴザイマス、政府ノ最前カラ

ノ場合ニ地租ヲ免ズルト云フコトハ先申上ダマシタル如ク明治六年ニ定メタル地租改正條例及之ニ基ク所ノ地租條例ニ據リマシテモ行ヒ難キコトデゴザイマスル故ニ政府ハ同意ヲ表シ難イデゴザイマス、去リナガラ政府モ固ヨリ

昨年ノ如キ頗ル廣イ所ノ部分ニ瓦ル一般ノ人民ノ窮厄ニ就キマシテハ大ニ顧ミル所ガゴザイマスル、法律ノ範圍内ニ於キマシテソレノ救濟ヲ與フベキハ當然ノコトデゴザイマス、左レバ現法ニ依テ處分スペキモノハソレノ處分ヲ致シテ居リマス、即チ地租條例ニ據テ荒地ト爲ルベキモノハ免租ノ手續ヲ爲ス積、此分ハ現今マダ概算デゴザイマスルガ大凡地租ニシテ三十八万圓程モゴザイマス、尤モ徵收法ニ於キマシテ非常ノ災害ニ罹リタルガタメニ徵收ヲ猶豫スペキ分ハ猶豫致シテ居リマスル、此分ハ大凡十八万圓程モアリマスル、其他水附ノ地ニシテ本案ノ如キ災害ニ罹ルモノ、救濟ニ就キマシテハ則チ現行ノ法律ニ於テ救濟ヲ與フベキモノガゴザイマス、是ハ則チ備蓄法デゴザイマシテ同法ニ據リマスレバ地方ノ備荒儲蓄ノ支出ガ百分ノ五

以上ニ亘ラテ支出供用致シマシタ場合ニハ中央儲蓄ヨリ支出スルト云フコトニナツテ居リマスルカラ是ヨリ支出ヲ致ス見込デ居ツテ現ニ其手續ニ掛ケテ居ルノデゴザイマス、抑、備荒儲蓄法ハ決定ニ就キマシテハ豫ネヒ御承知アラセラル如ク其精神ニ於テハ人民ヲシテ凶歳ニ延納セシムルヨリハ豐歳ニ蓄積ヲ餘シテ是ヲ以テ萬一二備荒ノ救濟ヲ與ヘルト云フノ趣意デゴザイマシテワレガタメニ同法ノ設定ニ當ツテ從來存シテ居リマシタル所ノ凶歳延納規則ヲ廢シテ之ニ移シタ譯デゴザイマス、又地方ノ儲蓄ニテ其害廣クシテ救ヒ能ハサルトキハ中央ヨリ支出スルト云フノ意ヲ以テ設定ニナツテ居リマス、左レバ昨年ノ如キ水害ニ際シテハ同法ニ據テ救濟ヲ與ヘル事ハ現在ノ法律ノ範圍内ニ於テ爲ス所ノ當然ノ手順デゴザイマスル故ニワレノ手續ヲ致シマシテ備荒儲蓄法ニ據テ此救濟ノタメニ支出スペキ金額ガ凡ソ二百十九万圓ニ及シテ居リマスル、未ダ各地方ヨリノ請求モ残ラズ具ニ明細ヲ備ヘテ居リマセヌ故豫算デゴザイマスルガ右ノ金額ヲ支出スルコトニナツテ居リマスル爲ニ中央備荒儲蓄ハ今日ハ悉皆缺乏ヲ告ゲマシテ既ニ御院ノ協賛ヲ經テゴザイマスルガ更ニ追加豫算ヲ提出致シタ位ナ譯ニナツテ居リマス、斯ノ如キ譯デ政府ニ於キマシテハ現在ノ法律ニ於テ救濟ヲ與フベキモノハ残ラズ盡シテ居ル、今本案ヲ執行スルト云フコトニナルト云フト更ニ救濟ヲ重ネルト云フ筋ニ當ルコト、考ヘマス、又水害ノ如キコトハ不幸ナコトデゴザイマスルケレドモ何時再ビ生ゼ又コトモ測リ難イ昨年水害ガアカテ之ガタメニ特別ノ法律ヲ作り又若シ近キニ同一ノ災害ガアレバ又同一ノ法律ヲ作ラネバナラスト云フコトニナル、斯ノ如キハ最前陳述致シマシタル所ノ地租條例ノ精神ニ適ハザルモノト認メマス、此理由ヲ以チマシテ本案ニ對シマシテ政府ハ反對ヲ表シマス

○議長(公爵近衛篤齋君) 御質問モナクバ次ノ日程ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉

○男爵小松行正君 此特別委員ハ議長ニ於テ指名アランコトヲ
○小原重哉君 贊成
○議長(公爵近衛篤齋君) 小松男爵ノ動議ニ御不同意ガナクバ其通ニ致シマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者多シ)

○議長(公爵近衛篤齋君) 千葉縣茨城縣境界變更法律案、通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

(阪本書記官朗讀)

千葉縣茨城縣境界變更法律案

右憲法第三十八條ニ依リ貴院ニ提出候也

明治三十年三月六日

衆議院議長鳩山和夫

第一條 千葉縣茨城縣境界變更法
千葉縣及茨城縣ノ境界ヲ變更スルコト左ノ如シ

川以北ハ茨城縣下總國東葛飾郡二川村大字新田戸ノ内大字桐ヶ作ノ内中利根

千葉縣下總國東葛飾郡二川村大字古布内ノ内及千葉縣下總國東葛飾郡木間ケ瀬ノ内中利根川以北ハ茨城縣下總國猿島郡

千葉縣下總國南相馬郡布佐町大字布佐ノ内下利根川以北ハ茨城縣下總國北相馬郡布川町ニ編入ス

千葉縣下總國香取郡金江津村(下利根川以南ヲ除ク)ハ茨城縣常陸國稻敷郡ニ

編入シ千葉縣下總國下埴生郡豐住村大字田川ハ右金江津村ニ千葉縣下總國香

千葉縣下總國香取郡金江津村大字平川ノ内下利根川以南ハ千葉縣下總國香

根川以北ハ右十余島村ニ編入ス

千葉縣下總國香取郡十余島村ハ茨城縣常陸國稻敷郡ニ編入シ千葉縣

下總國香取郡神崎町大字小松ノ内大字神崎本宿ノ内大字神崎本宿ノ

内大字今ノ内及千葉縣下總國香取郡本新島村大字野間谷原ノ内下利

根川以北ハ右十余島村ニ編入ス

千葉縣下總國香取郡本新島村(根川以北ヲ除ク)ハ茨城縣常陸國稻

敷郡ニ編入シ千葉縣下總國香取郡新島村大字八箭川ノ内大字境島ノ

内大字太島ノ内大字三島ノ内及千葉縣下總國香取郡佐原町大字佐原

内横利根川以西ハ右本新島村ニ千葉縣下總國香取郡本新島村大字

(一四)

川尻大字大戸新田大字野間谷原ノ内大字石納ノ内下利根川以南トハ千葉縣下總國香取郡東大戸村ニ編入ス
 千葉縣下總國香取郡新島村(横利根川以西ヲ除ク)ハ茨城縣常陸國行方郡ニ編入シ千葉縣下總國香取郡津宮村ノ内及千葉縣下總國香取郡大倉村大字大倉ノ内與田浦以北ニ右新島村ニ編入シ千葉縣下總國香取郡大倉村大字丁子ト大字大倉ノ内及千葉縣下總國香取郡津宮村ノ内下利根川以北トハ合併シテ津宮村トス
 千葉縣下總國香取郡佐原町大字西代大字長島大字中洲ト大字佐原ノ内大字篠原ノ内及千葉縣下總國香取郡豐浦村大字一ノ分目ノ内下利根川以北ト千葉縣下總國香取郡津宮村ノ内及千葉縣下總國香取郡大倉村大字蛭打ノ内中利根川以南ハ共ニ茨城縣常陸國行方郡ニ編入シ佐原村トス
 茨城縣下總國猿島郡中川村大字長谷ノ内大字小山ノ内中利根川以南ハ千葉縣下總國東葛飾郡木間ヶ瀬村ニ編入シ茨城縣下總國猿島郡中川村大字蛭打ノ内中利根川以南ハ千葉縣下總國東葛飾郡川間村ニ編入ス
 茨城縣下總國北相馬郡稻戸井村大字稻ノ内及茨城縣下總國北相馬郡取手町大字取手ノ内中利根川以南ハ千葉縣下總國南相馬郡我孫子町ニ編入ス
 第二條 此ノ法律施行ノ爲メ縣ノ財產處分ヲ要スルトキハ關係縣會ノ意見ヲ聞キ內務大臣之ヲ定メ郡又ハ町村ノ財產處分ヲ要スルトキハ關係郡會又ハ町村會ノ意見ヲ聞キ其ノ關係縣知事協議ノ上之ヲ定ムヘシ若シ協議整ハサルトキハ内務大臣ノ裁定ヲ請フヘシ

第三條 現任衆議院議員及縣會議員ハ本法ニ依レル縣境界變更ノ爲ニ其ノ議員タル資格ヲ失フコトナシ
 但此ノ法律施行ノ爲メ千葉縣會議員ニシテ住居ノ千葉縣ニ移リタルモノ又ハ茨城縣會議員ニシテ住居ノ千葉縣ニ移リタルモノハ此ノ限りニ在ラス

第四條 衆議院議員及縣會議員ノ選舉及被選資格中其ノ年限ニ關スルモノハ本法ニ依レル縣境界變更ノ爲ニ中断セラル、コトナシ
 第五條 此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス
 ○子爵小笠原壽長君 此案ハ衆議院カラ出マシタ案デアリマスケレドモ少シ是ハ政府委員ニ本員ハ質問致シタウゴザイマス此境界變更法案ニ附キマシテハ兩縣カラモ委員が出テ居リマシテ大分此案ニ附キマシテハ運動モソレゾレ致シテ居リマス、本員ノ如キモ兩方ノ委員カラ賛成ヲシロ反対ヲシロト云フテ頻ニ本員ナドハ誘導ヲ受ケテ居リマス、ソレデ是ハ境界變更ノ如キハ餘程ノハ本法ニ依レル縣境界變更ノ爲ニ中斷セラル、コトナシ

第一條 千葉縣下總國香取郡東大戸村ニ編入ス
 千葉縣下總國香取郡新島村(横利根川以西ヲ除ク)ハ茨城縣常陸國行方郡ニ編入シ千葉縣下總國香取郡津宮村ノ内及千葉縣下總國香取郡大倉村大字大倉ノ内與田浦以北ニ右新島村ニ編入シ千葉縣下總國香取郡大倉村大字丁子ト大字大倉ノ内及千葉縣下總國香取郡津宮村ノ内下利根川以南トハ合併シテ津宮村トス
 千葉縣下總國香取郡佐原町大字西代大字長島大字中洲ト大字佐原ノ内大字篠原ノ内及千葉縣下總國香取郡豐浦村大字一ノ分目ノ内下利根川以北ト千葉縣下總國香取郡津宮村ノ内及千葉縣下總國香取郡大倉村大字蛭打ノ内中利根川以北ハ共ニ茨城縣常陸國行方郡ニ編入シ佐原村トス
 茨城縣下總國猿島郡中川村大字長谷ノ内大字小山ノ内中利根川以南ハ千葉縣下總國東葛飾郡木間ヶ瀬村ニ編入シ茨城縣下總國猿島郡中川村大字蛭打ノ内中利根川以南ハ千葉縣下總國東葛飾郡川間村ニ編入ス
 茨城縣下總國北相馬郡稻戸井村大字稻ノ内及茨城縣下總國北相馬郡取手町大字取手ノ内中利根川以南ハ千葉縣下總國南相馬郡我孫子町ニ編入ス
 第二條 此ノ法律施行ノ爲メ縣ノ財產處分ヲ要スルトキハ關係縣會ノ意見ヲ聞キ内務大臣之ヲ定メ郡又ハ町村ノ財產處分ヲ要スルトキハ關係郡會又ハ町村會ノ意見ヲ聞キ其ノ關係縣知事協議ノ上之ヲ定ムヘシ若シ協議整ハサルトキハ内務大臣ノ裁定ヲ請フヘシ

第三條 現任衆議院議員及縣會議員ハ本法ニ依レル縣境界變更ノ爲ニ其ノ議員タル資格ヲ失フコトナシ
 但此ノ法律施行ノ爲メ千葉縣會議員ニシテ住居ノ千葉縣ニ移リタルモノ又ハ茨城縣會議員ニシテ住居ノ千葉縣ニ移リタルモノハ此ノ限りニ在ラス

第四條 衆議院議員及縣會議員ノ選舉及被選資格中其ノ年限ニ關スルモノハ本法ニ依レル縣境界變更ノ爲ニ中斷セラル、コトナシ
 第五條 此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス
 ○子爵小笠原壽長君 此案ハ衆議院カラ出マシタ案デアリマスケレドモ少シ御見エニナラヌカト思ヒマスガ茲ニ持ツテ居リマスガ茲デ廣ゲテモ少シ御見エニナラヌカト思ヒマスガ茲ニ持ツテ居リマスガ御承知ノ通此變更問題ニナラテ居リマスル一部分小貝川ト云フ利根川ノ支流ガゴザリマスガソレカラ下ノ所ガ餘程細イ地面ガ……千葉縣ノ細イ地面ガ利根川ノ左岸ニ在ルノデゴザイマス、是ニハ千葉茨城聯合ノ組合ガ其堤防ニ對シテアリマスケレドモ免モ角モ千葉縣ノ管内アラテサウシテ千葉縣管内ニ堤防ガアリテサウシテ其堤防ヲ保護スル千葉縣ノ地面ト云フモノガ細イモノガアル、ソレカラ其堤防ノタメニ保護ヲ受ケテ居ル茨城縣ノ地面ハ大變廣イ、ソレ故ニマスケレドモ免モ角モ千葉縣ノ管内アラテサウシテ千葉縣管内ニ堤防ガアリテサウシテ其堤防ニ大イニ力ヲ盡シタイガドウモ其管轄ガ達フコトダカラ思フヤウニ行カヌ靴ヲ隔フテ何トヤラ云フモノガ細イモノガアル、ソレデ之ヲノ管轄茨城縣ノ管轄ニシテシマヒタイト云フ考ヘデアラウト思フ、デ此コトニ就イテハ此案ハ實ニ二十七年ニ其衆議院ニ出マシテ議決ニ至リマセナカツタノ其トキニ其治水上ニ對シテ政府ノ考ハドウデアルカト云フ問ニ本員ガ答タノニハ下利根川ガ鹿島近傍デ大層狹クナラテ居ル、ソレ故ニアスコノ洪水量ヲ

○政府委員(三崎龜之助君) 御答申シマス、此コトハ茨城縣ニ取リマシテモ又千葉縣ニ取リマシテモ殊ニ千葉縣ハ其變更ノタメニ影響ヲ蒙リマス局部ノ人民デゴザイマス大變ニ影響ヲ被リマスルノデ縣治上隨分考慮ヲ要スル事柄ト思ヒマスルデアリマス、併ナガラ此問題ハ既ニ千葉縣及茨城縣ノ縣會ヨリモ變更ノ已ムヲ得ザルコトヲ度々建議ヲ主務省へ致シテ居リマス、旁々以チマシテ縣治上ノ上カラ見マスルト斷然之ヲ變更シナケレバナラヌト云フ案ヲ政府カラ提出スルノハドウデアルカト云フノデゴザイマス、併シワシナラバ此案ニ政府ガ飽マデモ反對シナケレバナラヌカト云フトドウセ反對スル理由ガ今日ハナイノデゴザイマス、是ダケヲ申シマス
 ○子爵小笠原壽長君 サウシマスルト政府ハ唯今ノ御答ニ依リマスト誠ニ腰昧ナ御答ト本員ハ認メマス、サウシマスト政府ハドチラニナラテモ御構ヒナイト云フ斯ウ云フ譯ニナリマスカ、今一應伺ヒマス
 ○政府委員(三崎龜之助君) ドチラニナラテモ構ハヌト云フコトハゴザイマセヌ、此案ニ政府ガ唯今ノ日程ノ前ニアリマシタ如ク極力反對シナケレバナラヌト云フ理由ガ今ナイアゴザイマス、ト云ヒテ政府ガ進ンデ此案ヲ出サナケレバナラヌト云フコトハ餘程考慮ヲ要スルコトデゴザイマス
 ○子爵小笠原壽長君 矢張腰昧ダ本員ニハサツ張分リマセヌ
 ○男爵渡邊清君 本員モ少シ伺ヒタイデスガ本員ハ此利根川ノ治水上ニ就イテ伺ヒタイ尤モ此境界ニハ治水上ガドウデアラウカト思ヒマスカラ幸ヒ政府委員モ御出席ノヤウデゴザイマスカラ治水上ニ對シテ如何ヤト云フ所ヲ伺ヒタイ
 (政府委員古市公威君演壇ニ登ル)
 ○政府委員(古市公威君) 治水上ノ關係如何ヲ御話致シマスルニハ實ハ其圖面ヲ御覽ニ入レヌト能ク分ルマイト思ヒマスガ茲ニ持ツテ居リマスガ茲デ廣ゲテモ少シ御見エニナラヌカト思ヒマスガ茲ニ持ツテ居リマスガ御承知ノ通此變更問題ニナラテ居リマスル一部分小貝川ト云フ利根川ノ支流ガゴザリマスガソレカラ下ノ所ガ餘程細イ地面ガ……千葉縣ノ細イ地面ガ利根川ノ左岸ニ在ルノデゴザイマス、是ニハ千葉茨城聯合ノ組合ガ其堤防ニ對シテアリマスケレドモ免モ角モ千葉縣ノ管内アラテサウシテ千葉縣管内ニ堤防ガアリテサウシテ其堤防ニ大イニ力ヲ盡シタイガドウモ其管轄ガ達フコトダカラ思フヤウニ行カヌ靴ヲ隔フテ何トヤラ云フモノガ細イモノガアル、ソレカラ其堤防ノタメニ保護ヲ受ケテ居ル茨城縣ノ地面ハ大變廣イ、ソレ故ニマスケレドモ免モ角モ千葉縣ノ管内アラテサウシテ千葉縣管内ニ堤防ガアリテサウシテ其堤防ニ大イニ力ヲ盡シタイガドウモ其管轄ガ達フコトダカラ思フヤウニ行カヌ靴ヲ隔フテ何トヤラ云フモノガ細イモノガアル、ソレデ之ヲノ管轄茨城縣ノ管轄ニシテシマヒタイト云フ考ヘデアラウト思フ、デ此コトニ就イテハ此案ハ實ニ二十七年ニ其衆議院ニ出マシテ議決ニ至リマセナカツタノ其トキニ其治水上ニ對シテ政府ノ考ハドウデアルカト云フ問ニ本員ガ答タノニハ下利根川ガ鹿島近傍デ大層狹クナラテ居ル、ソレ故ニアスコノ洪水量ヲ

吐クニ足ラスカラ引堤ヲスル計畫ニ今日ハナツテ居ル、併シ其引堤ヲシタバカリデ濟ムカドウカト云フコトニ附イテ又疑ヒガアル、アルカラ其チツト方針ガ定マルマデ待ツタラドウダラウト云フ意見デアツタ、考ヘテモ見マシタガ其鹿島以下ノ洪水ハ縱令將來ドウ變更シテモ今一遍組變ヘタ地面ヲ再ビ復組變ヘナケレバナラスト云フ計畫ハドウモ出來ヌト思ハル、ソレカラ又一方デレカラモウツ其二十七年カラハ此今日カラ云ヘバ昨年ノ水ナドガ大イニ茨城縣民ノ頭ヲ刺激シタダラウト考ヘルノデゴザイマス、ソレハ御聞及ビデモアリマセウガ此利根左岸ガ切レマシテ即チ津ノ宮邊デハ殆ド膝越ト云フ位ニナツタ、ソレカラシテ尙ホアスコヘーツ力ヲ入レヤウト云フ考ガ起ツタモノ是モ無理カラスコト、思フ、ソレカラモウツ其二十七年カラ

〔五十嵐敬止君「議長、定足數ニ足リマスカ」ト述フ〕

〔大丈夫ト呼フ者アリ〕

〔要ヲ摘ンデ簡單ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ〕

此河川法ト云フモノヲ利根川ニ布クヤウニナリマスト云フト堤防デモ大ニ改築セニヤナラスト云フコトニナリマスルト自ラ其地先ノ府縣ガソレヲ負擔セニヤナラス、是ハ尤モ地先バカリデハナイ河川法ノ三十三條ニソレガタメニ特ニ利益ヲ受クル地方ガアレバ其地方ニ又費用ノ一部ヲ負擔サセルコトガ出来ルヤウニナツテ居リマスケレドモ先ヅ主トシテ地先ノ府縣ガ工費ノ一部ヲ負擔セニヤナラスト云フ原則ニナツテ居リマス、サウスルト千葉ノ方デ細長イヤウナ地面ヲ保護スルタメニ堤防費ヲ餘程負擔セニヤナラコトニナツテ、是等ハ又千葉ノ方ノ縣會ガ千葉ノ方ニアリナガラ縣會が縣域變更ヲ望ムト云フノモ無理カラスコトデアラウト思フ、夫レ是ヲ以テ唯今三崎政府委員ガ答ヘタヤウニ強テ反對スル程ノ必要ヲ見ヌト云フ次第アリマス

○子爵新莊直陳君 サウスルト河身改修ノ設計上ニ就テモチツトモ御差支ハナイト云フ御考デスカ其事ヲ一應承リタイ

○政府委員(古市公威君) 唯今既ニアル設計ニハチツトモ差支ナイ、既ニ成立シテ居ル設計ニハ……ソレカラ津ノ宮以下テ瀬換デモシャウト云フ考ガアタノデ暫ク待ツタラドウカト云フコトヲ一七年ニ言ツタ是モアト戻リヲスルヤウナ瀬換ハ逆モ出來ナイト云フコトニナルノデアリマス

○男爵船越衛君 三崎局長ニチヨット質問ガ致シタウゴザイマスガ先刻此案ニ就テノ御答ハ誠ニ腹昧無責任デ、内務省ハ無定見ト言ツテ宜イ、ソレデ今日ハ郡制府縣制ヲ夫ニ行ヒツ、アル、之ヲ行フニ就イテモ餘程御定見ガナケレバナラス、抑國ノ境界ヲ變更シ縣ノ區域ヲ改メルト云フコトハ餘程大切ノコトデアル、ソレデ議院ガ法律ヲ出シサヘスレバドツチデモ宜イ、ソレ成ル程御職務ハソレデ濟ムガ其所ノ人民コツ迷惑千萬、アノ邊ハマダ御承知デモアルマイカ……

○議長(公爵近衛篤齊君) ソレハ御質問デスカ

○男爵船越衛君 是カラ質問致シマス、斯ウ腹昧ニ答ヘラレテハ質問モサレ

- 伯爵大原重朝君 贊成
〔其他賛成ト呼フ者アリ〕
- 議長(公爵近衛篤齊君) 小松男爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者多シ〕
- 議長(公爵近衛篤齊君) 次ハ郡制改正法律案、衆議院提出、第一讀會、通牒文ノミヲ朗讀致サセマス
- 男爵小松行正君 是モ議長ニ委託致シタイ
- 伯爵大原重朝君 贊成
〔其他賛成ト呼フ者アリ〕
- 議長(公爵近衛篤齊君) 小松男爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者多シ〕
- 議長(公爵近衛篤齊君) 次ハ郡制改正法律案、衆議院提出、第一讀會、通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

(阪本書記官朗讀)

郡制改正法律案

右憲法第三十八條ニ依リ貴院ニ提出候也

明治三十年三月六日

衆議院議長鳩山和夫

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)

第一章 總則

第一款 郡及其ノ區域

郡制

第一條 郡ハ其ノ區域内ニ在ル町村ヲ總括ス

郡ハ法人トシ法律勅令ヲ以テ定メタル範圍内ニ於ケル公共事務並法律勅

令ニ依リ郡ニ屬スル事務ハ官ノ監督ヲ受ケテ自ラ之ヲ處理スルモノトス

郡ハ國ノ行政區畫トス

郡ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ府縣ノ行政區畫トス

第二條 郡ノ廢置分合及郡界ノ變更ハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

郡界ニ當ル市町村ノ境界ヲ變更スルトキハ郡界モ亦自ラ變更スルモノトス

第三條 郡内ノ町村ヲ變シテ市ト爲シ若ハ市ヲ變シテ郡内ノ町村ト爲スハ

其ノ市町村ノ申請ニ依リ内務大臣之ヲ定ム

前項ノ場合ニ於テハ郡界モ亦自ラ變更スルモノトス

第四條 第二條第三條ノ處分ニ付財產處分ヲ要スルトキハ府縣參事會ノ議

決ヲ經テ府縣知事之ヲ處分スヘシ但シ特ニ法律ノ規程アルモノハ此ノ限

第二款 郡條例及郡規則

第五條 郡ハ其ノ事務ニ關シ法律勅令中明文ナキ事項又ハ條例ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ許シ若ハ條例ノ規程ニ讓リタル事項ニ就テハ條例ヲ設クルコトヲ得

郡ハ郡有財産及郡ノ營造物ニ關スル事項其ノ他法律勅令中規則ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ許シ若ハ規則ノ規程ニ讓リタル事項ニ就テハ規則ヲ設クルコトヲ得

郡條例及郡規則ハ法律命令ニ抵觸スルコトヲ得ス

郡條例及郡規則ヲ發行スルニハ地方所定ノ公告式ニ依ル其ノ公告式ハ郡規則ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第二章 郡會

第一款 組織及選舉

第六條 郡會ハ各選舉區ニ於テ選舉シタル議員ヲ以テ之ヲ組織ス

選舉區ハ一町村ヲ以テ一選舉區ト爲スヘシ但シ場合ニ依リ郡條例ヲ以テ數町村ヲ合シ一選舉區ト爲スコトヲ得

町村組合ニシテ組合會ヲ設ケ其ノ町村一切ノ事務ヲ共同處理スルモノハ之ヲ一町村ト看做スヘシ

第七條 郡會議員ノ數ハ十五名以上三十名以下トス

郡會議員ノ配當法ハ主トシテ人口ヲ標準トシ郡條例ヲ以テ之ヲ定ム

郡會議員ノ選舉區及議員ノ配當法ヲ改正スルトキハ議員全數ヲ改選スヘシ

第八條 郡内ノ町村公民ニシテ町村會議員ノ選舉權ヲ有シ且其ノ郡内ニ於テ一年以來直接國稅年額三圓以上ヲ納ムル者ハ郡會議員ノ選舉權及被選舉權ヲ有ス

本條ニ規定スル直接國稅額ニ就テハ家督ニ依リ財產ヲ相續シタル者ハ前ヲ除ク外其ノ他ノ要件ヲ失ハサルトキハ仍郡會議員ノ被選舉權ヲ有ス

住居ヲ移シタル爲町村ノ公民權ヲ失ヒタル者其ノ住居同郡内ニ在リ住居左ニ掲タル者ハ郡會議員ノ被選舉權ヲ有セス

一 所屬府東京府ハ醫
二 其ノ郡ノ官吏及有給吏員
三 檢事及警察官吏

四 神官僧侶又ハ諸宗ノ教師
五 小學校教員

前項ノ外ノ官吏ニシテ當選ニ應セムトスル者ハ本屬長官ノ許可ヲ受クヘシ

第九條 郡會議員ハ名譽職トス

郡會議員ノ任期ハ四年トシ每二年其ノ半數ヲ改選ス若其ノ員數二分シ難

キトキハ初回ニ於テ多數ノ一半ヲ解任セシム初回ニ於テ解任スヘキ者ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

退任者ハ再選セラル、コトヲ得

議員中顧員アルトキハ毎クモニ箇月以内ニ補闕選舉ヲ行フヘシ補

顧議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間 在職スルモノトス

第十條 郡會議員ノ選舉ハ郡長ノ告示ニ依リ町村長(數町村ヲ以テ一選舉區ト爲シタル場合ニ於テハ郡長ノ指定シタル町村長)之ヲ管理スヘシ

其ノ告示ハ定期改選若ハ總選舉ヲ行フ場合ニ於テハ少クトモ七十日前前選舉又ハ當選ヲ辭シ若ハ選舉ノ無效ト爲リタルトキ及其ノ他ノ事故ニ依リ更ニ選舉ヲ行フ場合ニ於テハ少クモ十日前之ヲ發スヘシ

第十二條 町村長ハ定期改選又ハ總選舉ヲ行フ毎ニ選舉ノ日ヨリ前五十日ヲ期トシ其ノ現在資格ニ依リ十日以内ニ選舉人名簿ヲ調製スヘシ但シ數

選舉區ハ一町村ヲ以テ一選舉區ト爲シタル場合ニ於テハ郡長ノ指定シタル町村長ニ之ヲ送付スヘシ

選舉ヲ管理スル町村長ハ名簿調製期限ノ翌日ヨリ七日間其ノ町村役場ニ於テ關係者ノ縱覽ニ供スヘシ若關係者ニ於テ異議アルトキハ同期限内ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村長ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ於テ之ヲ決定シ之ヲ申立人ニ通知スヘシ町村長ニ

於テ修正スヘシト決定シタルトキハ選舉前二十日ヲ限リ之ニ修正ヲ加ヘテ確定名簿ト爲シ之ニ登録セラレサル者ハ何人ダリトモ選舉ニ關スルコトヲ得ス

前項町村長ノ決定ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其ノ郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

本條ニ依リ確定シタル名簿ハ補闕選舉又ハ當選ヲ辭シ若ハ選舉ノ無效トナリタルトキ及其ノ他ノ事故ニ依リ更ニ選舉ヲ行フ場合ニモ亦之ヲ使用スルモノトス

郡參事會若ハ府縣參事會ノ裁決確定シ又ハ行政裁判所ノ判決アリタルニ依リ名簿ノ訂正スヘキモノアルトキハ町村長ニ於テ其ノ通知ヲ受ケタル時ヨリ二十四時間以内ニ之ヲ修正スヘシ

本條ニ依リ町村長ニ於テ名簿ヲ修正シタルトキハ其ノ要領ヲ公告スヘシ

訴願ノ裁決確定シ又ハ訴訟ノ判決アリタルニ依リ名簿ノ無效トナリタルトキハ前名簿ニ記載スヘキ選舉人資格ニ依リ郡長ノ指定シタル期日マテニ新ニ名簿ヲ調製スヘキモノトス其ノ縱覽修正ニ關スル期限等ハ總テ本條ノ例ヲ準用ス

第十三條 選舉ヲ管理スル町村長ハ選舉ノ日ヨリ少クトモ七日前選舉ノ場

所日時及選舉スヘキ議員ノ數ヲ公告スヘシ

第十四條 選舉掛ハ名譽職トシ選舉ヲ管理スル町村長ニ於テ臨時ニ選舉人

中ヨリ二名若ハ四名ヲ選任シ町村長若ハ其ノ代理者ハ掛長トナリ選舉會場ニ入ルコトヲ得
ヲ開閉シ會場ノ取締ニ任ス

投票ハ午前八時ニ始メ午後五時ニ終フ
第十五條 選舉開會中ハ選舉人ノ外何人タリトモ選舉會場ニ入ルコトヲ得
ス選舉人ハ選舉會場ニ於テ協議又ハ勸誘ヲ爲スコトヲ得ス

第十六條 選舉ハ投票ヲ以テ之ヲ行フ投票ハ選舉會場ニ於テ被選舉人ノ氏
名ヲ記シ封緘ノ上選舉人自ラ掛長ニ差出スヘシ但シ選舉人ノ氏名ハ投票

ニ記入スルコトヲ得ス

選舉人投票ヲ差出ストキハ自己ノ氏名及住所ヲ掛長ニ申立テ掛長ハ選舉
人名簿ニ照シテ之ヲ受ケ封緘ノ儘投票函ニ投入スヘシ但シ投票函ハ投票

ヲ終ルマテ開クコトヲ得ス

第十七條 投票ニ記載ノ人員其ノ選舉スヘキ定數ニ過キ又ハ不足アルモ其
ノ投票ヲ無効トセス其ノ定數ニ過タルモノハ末尾ニ記載シタル人名ヲ順
次ニ棄却スヘシ

左ノ投票ハ之ヲ無効トス

一 記載セル氏名ノ讀ミ難キモノ

二 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ

三 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載スルモノ

以上三種ノ投票中他ニ列記ノ被選舉人ニ就テハ仍其ノ效アリトス

四 氏名ヲ記載セサルモノ

五 被選舉人氏名ノ外他事ヲ記入スルモノ但シ爵位職業身分住所又ハ敬

稱ノ類ヲ記スルモノハ無効ト爲スノ限ニ在ラス

六 投票用紙ヲ一定シタル場合ニ於テ其ノ用紙ヲ用井サルモノ

投票ノ受理竝效力ニ關スル事項ハ選舉掛之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ

掛長之ヲ決ス

第十八條 選舉ハ選舉人自ラ之ヲ行フヘシ他人ニ託シテ投票ヲ差出スコト
ヲ許サス

第十九條 議員ノ選舉ハ有效投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス投票ノ

數相同キモノハ年長者ヲ取リ同年月ナルトキハ掛長自ラ抽籤シテ其ノ當
選ヲ定ム

同時ニ補闕員數名ヲ選舉スルトキハ投票數ノ多キ者ヲ以テ殘任期ノ長キ
前任者ノ補闕ト爲シ投票ノ數相同キトキハ掛長自ラ抽籤シテ其ノ順序ヲ
定ム

第二十條 選舉掛ハ選舉錄ヲ製シテ選舉ノ頃末ヲ記録シ選舉ヲ終リタル後
之ヲ朗讀シ選舉人名簿其ノ他關係書類ヲ合綴シテ之ニ署名捺印シ少クト
モ四年間之ヲ保存スヘシ

投票ハ之ヲ選舉錄ニ附屬シ選舉ノ效力確定スルニ至ルマテ之ヲ保存スヘ
シ

第二十一條 選舉ヲ終リ當選人定マリタルトキハ選舉掛長直ニ當選人ニ通
知シ同時ニ郡長ニ報告スヘシ

當選人當選ノ通知ヲ受ケタルトキハ五日以内ニ其ノ當選ヲ承諾スルヤ否
ヲ郡長ニ届出ツヘシ

一人ニシテ數選舉區ノ選舉ニ當リタルトキハ當選ノ通知ヲ受ケタル最終
ノ日ヨリ五日以内ニ何レノ選舉ニ應スヘキコトヲ郡長ニ届出ツヘシ

定期改選ト補闕選舉トヲ同時ニ行ヒタル場合ニ於テ一人ニシテ其ノ兩選
舉ニ當リタルトキモ亦前項ノ例ヲ適用ス

前三項ノ届出ヲ其ノ期限内ニ爲サルトキハ當選ヲ辭シタルモノト看做
スヘシ

第二十二條 議員ノ當選ヲ辭シタル者アルトキハ更ニ選舉ヲ行ハシムヘ
シ

二人以上投票同數ニシテ年長ニ依テ當選シタル者其ノ當選ヲ辭シタル
トキハ年少ニ依テ當選セサリシ者ヲ以テ當選人トス但シ年少ニ依テ當選

セサリシ者一人以上アルトキハ第十九條第一項ノ例ヲ適用ス
二人以上投票同數ニシテ抽籤ニ依テ當選シタル者其ノ當選ヲ辭シタルト
キハ抽籤ノ爲當選セサリシ者ヲ以テ當選人トス但シ抽籤ノ爲當選セサリ
シ者一人以上アルトキハ當選ヲ定ム

第二十三條 當選人確定シタルトキハ郡長ハ直ニ當選證書ヲ附與シ及管内
ニ告示スヘシ

第二十四條 選舉人選舉ノ效力ニ關シテ訴願セムトスルトキハ選舉ノ日ヨ
リ十四日以内ニ郡參事會ニ申立ツルコトヲ得

前項郡參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二十五條 選舉ノ規程ニ違背スルコトアルトキハ其事ノ輕微ニシテ選
舉ノ結果ニ異動ヲ生セサル場合ヲ除ク外其ノ選舉ヲ無効トス

當選人中其ノ資格ノ要件ヲ有セサル者アルトキハ其ノ當選ヲ無効トス

選舉若ハ當選無効ト確定シタルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ

トス其ノ要件ノ有無ハ郡參事會之ヲ決定ス

第二十六條 議員中資格ノ要件ヲ有セサル者アルトキハ其ノ職ヲ失フモノ
ノ要件ノ有無ハ郡參事會之ヲ決定ス

郡會ニ於テ其ノ議員中資格要件ヲ有セサル者アルコトヲ發見スルトキハ
之ヲ郡長ニ通知スヘシ

郡長ハ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ郡參事會ノ議ニ付スヘシ郡長若
ハ名譽職參事會員ニ於テ發見シタルトキモ亦同シ

本條郡參事會ノ決定ニ關シテハ第二十四條第二項ノ例ヲ適用ス
之ヲ郡長ニ通知スヘシ

郡會議員ハ其ノ資格要件ヲ有セストスル決定若ハ裁決確定シ又ハ判決ス
ルマテ議會ニ於テ位列及發言ノ權ヲ失ハス但シ自身ノ資格審查ニ關スル
會議ニ對シテハ辯明スルコトヲ得ルモ其ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

第二十七條 郡會議員選舉ニ關スル額題ハ明治二十三年法律第三十九號市町村會議員選舉罰則ヲ適用ス

第二款 職務權限及處務規程

第二十八條 郡會ノ議決スヘキ事件左ノ如シ

一 郡條例及郡規則ヲ設クル事

二 郡費ヲ以テ支辨スヘキ事業但シ法律勅令中別段ノ規程アルモノハ此ノ限ニ在ラス

三 郡ノ歲入出豫算ヲ定ムル事

四 決算報告ヲ認定スル事

五 法律命令ニ定ムルモノヲ除ク外使用料手數料並夫役現品ノ賦課徵收ノ方法ヲ定ムル事

六 郡有不動產ノ賣買交換譲渡譲受並質入書入ノ事

七 積立金穀等ノ處分ヲ爲ス事

八 歲入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ棄却ヲ爲ス事

九 郡有財產及郡ノ營造物ノ管理方法ヲ定ムル事

十 郡ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事項

第十九條 郡會ハ郡ノ事務ニ關スル書類及計算書ヲ檢閱シ郡長ノ報告ヲ請求シテ事務ノ管理議決ノ施行並收入支出ノ正否ヲ検査スルノ權限ヲ有ス

第三十條 郡會ハ其ノ權限ニ屬スル事件ヲ郡參事會ニ委任スルコトヲ得

第三十一條 郡會ハ郡ノ利害ニ關スル事件ニ付意見書ヲ郡長若ハ監督官廳ニ差出スコトヲ得

第三十二條 郡會ハ官廳ノ諮詢アルトキハ意見ヲ答申スヘシ

第三十三條 郡會議員ハ選舉人ノ指示若ハ委嘱ヲ受クヘカラサルモノトス

第三十四條 郡會議員ハ自己及其ノ父母兄弟姉妹若ハ妻子ノ一身上ニ關スル事件ニ就テハ會議ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ郡會ノ議事ニ參與シ及其ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

前項除席ノ爲ニ議員ノ數減少シテ會議ヲ開ク定數ニ滿タサルトキモ仍會議ヲ開クコトヲ得

第三十五條 郡會ハ郡會議員中ヨリ議長副議長各一名ヲ選舉スヘシ

議長及副議長ハ郡會議員ノ定期改選期日ノ前日マテ在職スルモノトス

議長副議長共ニ故障アルトキハ臨時議長ヲ選舉スヘシ

議事ニ參與スルコトヲ得シ議決ノ數ニ加ハルコトヲ得ス

前項ノ列席者ニ於テ發言ヲ求ムルトキハ議長ハ何時ニテモ之ヲ許スヘシ

第三十七條 郡會ハ毎年一回通常會ヲ開クヘシ其ノ他必要アルトキハ其ノ事件ニ限り臨時會ヲ開クコトヲ得

郡會ハ郡長之ヲ招集ス若議員三分一以上ニ於テ臨時ノ招集ヲ請求スルトキハ之ヲ招集スヘシ其ノ招集並會議ノ事件ハ開會日ヨリ少クトモ十日以前ニ告示スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

郡會ハ郡長之ヲ開閉ス

第三十八條 郡會ハ議員定員ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス但シ同一ノ事件ニ付集會再開ニ至ルモ議員仍半數ニ満タサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十九條 郡會ノ議決ハ過半數ニ依ル可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第四十條 郡會ニ於テ選舉ヲ行フトキハ一名毎ニ匿名投票ヲ爲シ有效投票ノ過半數ヲ得タル者ヲ以テ當選人トス若過半數ヲ得タル者ナキトキハ當リ同數者アルトキハ年長者ヲ取り同年月ナレハ議長自ラ抽籤シテ之ヲ定ム此ノ決選投票ニ於テハ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選ヲ定ム其ノ他ハ第十六條第

ハ年長者ヲ取リ同年月ナレハ抽籤ヲ以テ當選ヲ定ム其ノ他ハ第十六條第十七條第十八條ヲ適用ス議長選舉ノ場合ニハ議員中ノ年長者ヲ以テ假議長トス

第四十一條 郡會ノ會議ハ公開ス但シ郡長ノ要求アリタルトキ又ハ議長若ハ議員三名以上ノ發議ニ依リ可決シタルトキハ傍聽ヲ禁スルコトヲ得議長若ハ議員ノ發議ハ討論ヲ用井シテ其ノ可否ヲ決スヘシ

第四十二條 議長ハ會議ノ事ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第四十三條 議員ハ會議中無禮ノ語ヲ用井又ハ他人ノ身上ニ涉リ言論スルコトヲ得ス

會議中此ノ法律若ハ會議規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊ル議員アルトキハ議長ハ之ヲ警戒シ若ハ制止シ又ハ發言ヲ取消サシム命ニ從ハサルトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ終ルマテ發言ヲ禁止シ又ハ議場ノ外ニ退去セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

議場騒擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之ヲ閉

第四十四條 傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧騒ニ涉リ其ノ他議事ノ妨害ヲ爲ス者アルトキハ議長ハ之ヲ警戒シ若ハ制止シ又ハ發言ヲ取消サシム命ニ從ハサルトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ終ルマテ發言ヲ禁止シ又ハ議場ノ外ニ退去セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

傍聽席騒擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第四十五條 議場ノ秩序ヲ紊リ又ハ會議ノ妨害ヲ爲ス者アルトキハ議員若

ハ第三十六條ノ列席者ハ議長ノ注意ヲ喚起スルコトヲ得

第四十六條 郡會ニ書記ヲ置キ議長ニ隸屬シテ庶務ヲ掌理セシム

書記ハ議長之ヲ選任ス

第四十七條 議長ハ書記ヲシテ會議錄ヲ製シ會議ノ顛末竝出席議員ノ氏名ヲ記録セシムヘシ

其ノ議員ハ郡會ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第四十八條 郡會ハ府縣知事ノ認可ヲ得テ會議規則及傍聽人取締規則ヲ設

クヘシ其ノ會議規則ニハ之ニ違背シタル議員ニ對シ郡會ノ議決ニ依リ五

日以内出席ヲ停止スル規程ヲ設クルコトヲ得

第三章 郡參事會

第一款 組織及選舉

第四十九條 郡ニ郡參事會ヲ置キ左ノ職員ヲ以テ之ヲ組織ス

一 郡長

二 名譽職參事會員 五名

名譽職參事會員ハ郡條例ヲ以テ其ノ定員ヲ増減スルコトヲ得

第五十條 郡參事會ハ郡長ヲ以テ議長トス議長故障アルトキハ出席會員

中ニ於テ臨時議長ヲ互選スヘシ

第五十一條 名譽職參事會員ハ郡會ニ於テ其ノ議員中ヨリ選舉スヘシ

名譽職參事會員ノ任期ハ議員ノ任期ニ從フ但シ任期満限ノ後ト雖後任者

就職ノ日マテ在職スルモノトス

退任者ハ再選セラル、コトヲ得

郡會ハ每通常會ニ於テ名譽職參事會員ノ補充員トシテ正員ト同數ヲ選舉

シ闕員アルトキハ郡長ニ於テ補充員中投票多數ノ順次ニ依リ之ヲ補闕シ

仍闕員ヲ生シタル場合ニ於テハ三十日以内ニ臨時補闕選舉ヲ行フヘシ但

シ其ノ補闕員ハ前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

第五十二條 名譽職參事會員ノ選舉ノ效力ニ就テハ郡參事會自ラ之ヲ決定

トス

本條第一項ノ事件ニ關シテハ第二十四條第二項第二十五條第一項第三項

ノ例ヲ適用ス

第二款 職務權限及處務規程

第五十三條 郡參事會ノ職務權限左ノ如シ

一 郡會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其ノ委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル事

二 郡會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要シ郡長ニ於テ郡會ヲ招

集スルノ暇ナシト認ムアルトキ郡會ニ代テ議決スル事

三 郡會ノ議決シタル範圍内ニ於テ郡有財產及郡ノ營造物ノ管理ニ關シ

四 必要ナル事項ヲ議決スル事

五 律勅令中別段ノ規程アルモノハ此ノ限ニ在ラス

六 郡ノ會計及出納ヲ検査スル事

七 郡長ヨリ郡會ニ提出スル議案ニ付郡長ニ對シ意見ヲ述へ及會議ニ報

告スル事

八 官廳ノ諮詢ニ對シテ意見ヲ述フル事

其ノ他法律命令ニ依リ郡參事會ノ權限ニ屬スル事項

第五十四條 郡參事會ハ郡長之ヲ招集ス

會員半數以上ノ請求アルトキハ郡長ハ郡參事會ヲ招集スヘシ

第五十五條 郡參事會ノ會議ハ傍聽ヲ許サス

第五十六條 郡參事會ハ名譽職參事會員定員ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス但シ同一ノ事件ニ付集會再回ニ至ルモ名譽職參

事會員仍半數ニ滿タサルトキハ此ノ限ニ在ラス

郡參事會ノ議決ハ過半數ニ依ル可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依

ル

會議ノ顛末ハ之ヲ會議錄ニ記載シ議長及名譽職參事會員二名以上之署名捺印スヘシ

第五十七條 第三十四條第一項ノ規程ハ郡參事會ニモ亦之ヲ適用ス但シ同

條ノ規程ニ依リ會員ノ數減少シテ前條第一項ノ數ヲ得サルトキハ郡長ハ

補充員ヲ以テ臨時之ニ充テ仍其ノ數ヲ得サルトキハ郡會議員ニシテ其ノ事件ニ關係ナキ者ヲ臨時ニ指名シ其ノ不足ヲ補充シテ第四十九條ノ定數ニ滿タシムヘシ

第五十八條 町村制ノ規程ニ依リ郡參事會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ二郡以上ノ町村ニ交渉スルモノアルトキハ其ノ郡長ノ具狀ニ依リ府縣知事ニ於テ其ノ事件ヲ管理スヘキ郡參事會ヲ指定スヘシ二府縣以上ノ町村ニ交渉スルモノアルトキハ其ノ府縣知事ノ具狀ニ依リ内務大臣ニ於テ之ヲ指定スヘシ

第四章 郡ノ行政

第一款 郡吏員ノ組織及選任

第五十九條 郡ニ郡長郡書記ノ外特別ノ須要ニ依リ有給ノ郡吏員ヲ置ク其ノ定員ハ郡條例ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

前項ノ郡吏員ハ府縣知事之ヲ任免ス

第六十條 郡ニ郡出納吏ヲ置キ郡書記ノ中ニ就キ府縣知事之ヲ命ス

委員ハ名譽職トス

委員ノ組織任期等ニ關スル事項ハ第一項ノ郡規則ニ之ヲ規定スヘシ

第二款 郡長郡書記及郡吏員ノ職務權限

第六十二條 郡長ハ郡ヲ統轄シ其ノ行政事務ヲ擔任ス

一 郡會及郡參事會ノ議事ヲ準備シ茲其ノ議決ヲ執行スル事

二 郡有財產及郡ノ營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之カ管理者アルトキハ其ノ事務ヲ監督スル事

三 郡ノ權利ヲ保護スル事

四 郡ノ歲入ヲ管理シ歲入出豫算其ノ他郡會若ハ郡參事會ノ議決ニ依テ定マリタル收入支出ヲ命令シ會計及出納ヲ監視スル事

五 郡吏員ヲ監督シ委員ヲ除ク外其ノ他ニ對シ懲戒處分ヲ行フ事其ノ懲戒處分ハ譴責及十圓以下ノ過怠金トス

六 郡ノ諸證書及公文書類ヲ保管スル事

七 外部ニ對シテ郡ヲ代表シ及郡ノ名義ヲ以テ他廳若ハ一個人ト交渉スル事

八 法律命令又ハ郡會若ハ郡參事會ノ議決ニ依リ使用料手數料及郡費ヲ賦課徵收スル事其ノ他法律命令若ハ上司ノ指令ニ依リ郡長ノ權限ニ屬スル事項

第六十三條 郡會若ハ郡參事會ノ議決其ノ權限ヲ超エ又ハ法律命令ニ背クト認ムルトキハ郡長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指令ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ若ハ取消スヘシ

前項再議ニ付スルモ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ郡長ヨリ府縣參事會ニ申立テ其ノ決定ヲ請フヘシ其ノ府縣參事會ノ決定若ハ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

郡會若ハ郡參事會ノ議決公益ニ害アリト認ムルトキハ郡長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指令ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付スヘシ

前項再議ニ付スルモ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ郡長ヨリ府縣參事會ニ申立テ其ノ決定ヲ請フヘシ其ノ府縣參事會ノ決定ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

本條ノ決定若ハ裁決ハ其ノ確定ニ至ルマテ執行ヲ停止ス但シ當該官廳ニ於テ停止ノ爲ニ公益ニ害アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十四條 郡長ハ必要アル場合ニ於テハ期日ヲ定メテ郡會ノ中止ヲ命スルコトヲ得

第六十五條 郡會若ハ郡參事會ニ於テ必要ノ收支ニ關シ否決シ又ハ不當ノ削減ヲ爲シタルトキハ郡長ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指令ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ府縣知事ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ但シ場合ニ依リ再議ニ付セヌシテ直ニ縣知事ノ指揮ヲ請フコトヲ得

第六十六條 郡會若ハ郡參事會招集ニ應セス若ハ成立セサルトキハ郡長ハ

府縣知事ニ具狀シテ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スヘキ事件ヲ處分スルコトヲ得

第三十四條 第二項若ハ第三十八條但書又ハ第五十六條第一項但書ノ場合ニ於テ全ク會議ヲ開クコト能ハサルトキハ第一項第三項ノ例ニ依ルトキハ前項ノ例ニ依ル

第六十七條 郡長ハ郡參事會ノ職權ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ郡參事會成立セス若ハ之ヲ招集スル暇ナシト認ムルトキハ之ヲ專決シ次回ノ會議ニ於テ其ノ處分ヲ報告スヘシ

第六十八條 郡書記及郡吏員ハ郡長ノ命令ヲ受ケ庶務ニ從事ス

郡長故障アルトキハ上席郡書記其ノ職務ヲ代理ス

第六十九條 郡出納吏ハ郡ノ收入ヲ受領シ其ノ費用ノ支拂ヲ爲シ其ノ他會計ノ事務ヲ掌ル郡參事會ノ議決ヲ經テ郡出納吏ヨリ身元保證ヲ徵スルコトヲ得

第七十條 委員ハ郡長ノ監督ニ屬スル郡有財產若ハ郡ノ營造物ヲ管理シ其ノ他郡行政事務ノ一部ヲ分掌シ又ハ一時ノ委託ニ依リ事務ヲ處理ス

第七十一條 郡ノ事務ニ關スル庶務規程ハ府縣知事之ヲ定ム

郡吏員ノ服務紀律ハ内務大臣之ヲ定ム

第七十二條 有給郡吏員ノ給料並旅費日當額及其ノ支給方法ハ郡規則ヲ以テ規定スヘシ

第七十三條 名譽職員ニハ旅費日當ヲ給スルコトヲ得但シ其ノ支給額及支給方法ハ郡規則ヲ以テ規定スヘシ

第七十四條 紙料、旅費、日當、退隱料、遺族扶助料ハ郡ノ負擔トス

第五章 郡ノ財務

第一款 郡有財產郡ノ營造物及郡費

第七十五條 郡ニ於テ積立金穀等ヲ設クリトキハ郡規則ノ規程ニ依ルヘシ

第七十六條 郡ハ府縣知事ノ許可ヲ得テ國府縣郡市町村其ノ他公共團體若ハ個人ノ事業ニ對シ寄附若ハ補助ヲ爲スコトヲ得

第七十七條 郡ノ必要ナル諸費及法律命令ニ依リ郡ノ負擔ト定メタル費用ハ其ノ郡ニ於テ之ヲ支辨スヘシ

第七十八條 郡ノ支出ニ充ツル費用ハ郡有財產ヨリ生スル收入及其ノ他ノ收入ヲ以テ充ツルモノ、外之ヲ郡内各町村ニ分賦ス其ノ分賦ノ割合ハ各町村前年度豫算ノ屬スル年度ノ前々年度ノ直接府縣稅ノ徵收額ニ依ル

但シ本條ノ分賦法ニ依リ難キ事情アルトキハ郡會ノ議決ヲ經特別方法ヲ設ケ内務大臣ノ許可ヲ得テ施行スルコトヲ得
各町村ハ其ノ賦課ヲ受ケタル額ヲ其ノ豫算ニ編入シ之ヲ其ノ町村ノ支出ト爲シ郡金庫ニ納ムヘレ

第七十九條 郡ハ郡有財産若ハ郡ノ營造物ノ使用ニ付又ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付使用料又ハ手數料ヲ徵收スルコトヲ得
第八十條 郡ハ郡内ノ或ル部分ニ對シ特ニ利益アル事業ニ關シテハ郡會ノ議決ニ依リ該部分ノ町村ニ對シ利益ノ厚薄ニ準シ其ノ負擔ヲ增課スルコトヲ得

前項ノ費用ハ夫役若ハ現品ヲ以テ之ヲ町村ニ賦課スルコトヲ得

第八十一條 郡ニ於テ徵收スル使用料、手數料其ノ他郡ノ公法上ノ收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ郡長ハ國稅滯納處分法ニ依リ之ヲ處分スヘシ其ノ督促及手數料ニ關シテハ郡條例ヲ以テ別段ノ規程ヲ設クルコトヲ得
本條ニ記載スル徵收金ノ追徵還付期滿免除ニ就テハ國稅ニ關スル例ヲ適用ス

本條第一項ハ町村ニ對シテ適用スル限ニ在ラス

第八十二條 郡ハ其ノ負債ヲ償還スル爲若ハ天災事變等ノ爲已ムヲ得サル支出又ハ郡ノ永久ノ利益トナルヘキ支出ヲ要スルニ方リ通常ノ歲入ヲ増加スルトキハ郡内町村ノ負擔ニ堪ヘサル場合ニ限り郡會ノ議決ヲ經テ郡債ヲ起スコトヲ得

郡債ヲ起スノ議決ヲ爲ストキハ併セテ起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定ムヘシ

郡債償還ノ初期ハ起債ノ時ヨリ三年以内ト爲シ年々ノ償還歩合ヲ定メ起債ノ時ヨリ三十年以内ニ還了スヘシ

歲入出豫算内ノ支出ヲ爲スカ爲必要ナル一時ノ借入金ニシテ其ノ年度ノ收入ヲ以テ償還スヘキモノハ本條ニ依ル限ニ在ラス但シ郡參事會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

第二款 郡歲入出豫算及決算

第八十三條 郡長ハ毎年其ノ翌年度ニ關スル歲入出豫算ヲ調製シ少クトモ一年度二箇月前ニ郡會ノ議決ヲ經ヘシ但シ郡ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ

豫算ヲ郡會ニ提出スルトキハ郡長ハ併セテ其ノ郡有財產明細表ヲ提出スヘシ

第八十四條 郡長ハ必要ノ場合ニ於テ郡會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加若ハ更正ヲ爲スコトヲ得

第八十五條 郡ノ費用ヲ以テ支辨スル事業ニシテ數年ヲ期シテ施行スヘキモノ又ハ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ郡會ノ議決ヲ以テ

ノ年期間各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得
第八十六條 歳入出豫算中ニ豫備費ヲ設ケ郡長ニ於テ郡參事會ノ議決ヲ經テ豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツルコトヲ得但シ郡會ノ否決シタル費用ニ充ツルコトヲ得ス

第八十七條 豫算ハ郡會ノ議決ニ付スルノ前郡參事會ノ審査ニ付スヘシ若郡長ト郡參事會ト意見ヲ異ニスルトキハ郡長ハ郡參事會ノ意見ヲ豫算ニ添ヘ郡會ニ提出スヘシ
内務大臣ハ省令ヲ以テ豫算調製ノ式ヲ定メ並費目流用ニ關スル規程ヲ設ルモノトス

豫算ハ其ノ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ府縣知事ニ報告シ並地方所定ノ公告式ニ依リ其ノ要領ヲ告示スヘシ

第八十八條 郡ハ郡規則ヲ以テ特別會計ヲ設クルコトヲ得

第八十九條 郡ノ出納吏ハ郡長ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス又其ノ命令アルモ支出ノ豫算ナキカ又ハ豫備費支出及費目流用ノ規程ニ依ラサルトキハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

第九十條 郡ノ出納及金庫ハ毎月例日ヲ定メテ検査シ及毎年少クトモ一回臨時検査ヲ爲スヘシ検査ハ郡長之ヲ爲ス臨時検査ニハ名譽職參事會員一名以上ノ立會ヲ要ス

第九十一條 決算ハ郡長郡出納吏ニ命シテ會計年度後三箇月以内ニ調製シ郡參事會ノ審査ヲ經テ之ヲ次回ノ通常郡會ノ認定ニ付スヘシ
決算報告書竝之ニ關スル郡會ノ議決ハ郡長ヨリ之ヲ府縣知事ニ報告シ並決算ハ地方所定ノ公告式ニ依リ其ノ要領ヲ告示スヘシ

第六章 郡組合

第九十二條 特別ノ須要アル場合ニ於テハ府縣知事ハ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ郡組合ヲ設置スルコトヲ得

郡組合ノ廢止若ハ變更ニ就テモ亦前項ニ同シ

第九十三條 郡組合ヲ設置スルトキハ府縣知事ハ府縣參事會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ郡組合會ノ組織事務ノ管理方法並其ノ費用ノ負擔方法其ノ他必要ナル事項ヲ規定スヘシ

前項ノ外郡組合ニ就テハ郡ニ關スル規程ヲ準用ス

第七章 監督

第九十四條 郡ノ行政ハ第一次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第二次ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス

第九十五條 此ノ法律中別段ノ規程アル場合ヲ除ク外郡ノ行政ニ關スル府縣知事ノ處分又ハ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得
前項訴願ヲ提起スルトキハ處分若ハ裁決ノ執行ヲ停止ス但シ當該官廳ノ意見ニ依リ其ノ停止ノ爲ニ公益ニ害アリト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラス

此ノ法律ニ規定スル訴願ハ處分ヲ爲シ又ハ決定書若ハ裁決書ヲ交付シタ

ル日ヨリ十四日以内ニ其ノ理由ヲ具シテ提起スヘン

此ノ法律ニ規定スル行政訴訟ハ處分ヲ爲シ又ハ決定書若ハ裁決書ヲ交付

シタル日ヨリ二十一日以内ニ提起スヘシ

行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得ス

第九十六條 監督官廳ハ郡行政ノ法律命令ニ背戾セサルヤ其ノ事務錯亂避

滯セサルヤ否ヲ監視スヘシ監督官廳ハ之カ爲行政事務ニ關シテ報告ヲ爲

サシメ豫算及決算等ノ書類帳簿ヲ徵シ竝實地ニ就テ事務ノ現況ヲ視察シ

出納ヲ檢閱スルノ權ヲ有ス

監督官廳ハ郡行政ノ監督スル爲ニ必要ナル命令ヲ發シ處分ヲ爲スノ權ヲ

有ス

第九十七條 監督官廳ハ郡ノ豫算中不適當ノ支出ト認ムルモノアルトキハ

之ヲ削減スルコトヲ得其ノ支出ヲ削減シタル場合ニ於テハ之ニ相當スル

收入ヲ削減スヘシ

第九十八條 郡會ノ解散ハ内務大臣之ヲ命ス此ノ場合ニ於テハ三箇月以内

ニ議員ヲ選舉スヘン

前項解散ノ場合ニ於テハ名譽職參事會員モ亦解職スルモノトス

第九十九條 左ニ掲タル事件ハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ

要ス

一 郡債ヲ起シ並起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ若ハ變更ス

ル事但シ第八十二條末項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス

二 國庫ヨリ交付スル補助金ニ對シ支出金額ヲ定メ若ハ變更スル事

第一百條 郡條例ノ設定ハ内務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第一百一條 左ニ掲タル事件ハ府縣知事ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

一 郡規則ヲ設クル事

二 使用料手數料ヲ新設シ若ハ變更スル事

三 府縣ヨリ交付スル補助金ニ對シ支出金額ヲ定メ若ハ變更スル事

四 第八十條ニ依リ增課ヲ爲ス事

五 學藝美術ニ關シ又ハ歴史上貴重ナル物件ノ賣却、交換、讓渡、質入、書入

六 若ハ大ナル變更ヲ爲ス事

七 郡有不動產ノ賣却、交換、讓渡、質入書入ノ事

八 繼續費ヲ定メ若ハ變更スル事

第一百二條 府縣知事ハ郡吏員ニ對シ懲戒處分ヲ行フ其ノ懲戒處分ハ謹責一十五圓以下ノ過怠金及解職トス

前項解職處分ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一項ノ解職處分ヲ爲シタルトキハ其ノ確定ニ至ルマテ職務ノ執行ヲ停

止ス

第八章 附則

第一百三條 郡内總町村ノ共有ニ屬スル財產及其ノ管理ニ屬スル營造物ハ郡

内總町村ノ聯合又ハ組合ヲ以テ設立セル小學校ヲ除ク外此ノ法律施行ノ

島司ヲ置クヘキ島嶼ハ勅令ヲ以テ之ヲ指定ス

第一百四條 府縣制ヲ施行スルマテノ間府縣參事會ニ屬スル職務ハ府縣知事

之ヲ行フ

第一百五條 島司ヲ置ク島嶼ニ於テハ別ニ勅令ヲ以テ其ノ制ヲ定ム

島司ヲ置クヘキ島嶼ハ勅令ヲ以テ之ヲ指定ス

第一百六條 此ノ法律ニ依リ始メテ議員ヲ選舉スルニ付郡會及郡參事會ノ職

務ハ郡長ニ於テ之ヲ行フヘシ

第一百七條 町村制施行ノ爲定メタル直稅ノ種類ハ此ノ法律ノ施行ニ關シテ

モ亦之ヲ適用ス

第一百八條 此ノ法律施行ノ後ハ町村制第百二十六條第三ニ定ムル附加稅徵

收ノ許可ハ地租ハ四分一ヲ超過スルトキ之ヲ要スルモノトス

第一百九條 此ノ法律ハ町村制ヲ施行シタル各府縣ニ施行スルモノトス其ノ

施行ノ時期ハ府縣知事ノ具申ニ依リ内務大臣之ヲ定ム

第一百十條 明治十一年第十七號布告郡區町村編制法其ノ他此ノ法律ニ抵觸

スル從前ノ法規ハ此ノ法律ヲ行フ地ニ關シテハ其ノ效力ヲ失フモノトス

第百十一條 内務大臣ハ此ノ法律施行ノ責ニ任シ之カ爲必要ナル命令ヲ發

布スヘレ

(政府委員三崎龜之助君演壇ニ登ル)

○政府委員(三崎龜之助君)此案ニ就キマシテ政府ハ多クノ部分ノ改正ハ尤

モナ點ハゴザイマスルガ複選法ヲ廢スルコトニナツテ居ル、ソレカラ大地主

ノ制ヲ廢スルコトニナツテ居ル此二點ニ就キマシテハ何分郡制ノ施行ガ十分

全國へ行渡フテ居リマセヌデ唯今僅ニ二十三縣バカリカゴザイマセヌ有様デ

十分ノ調べモ材料モ得テ居リマセヌデ唯今調べ中デゴザリマスルカラ此二點

ヲ全廢スルコトニ就イテハ政府ハ俄ニ同意ヲスルコトハ出來ヌノデアリマス

其外箇條ニ就イテチヨイ餘程進ンダ改正デハゴザリマスルケレドモ尙

ホ政府ノ意向ヲ申レマスレバ少シ改メタイコトモゴザリマスルケレドモ尙

サクナリマスルカラ申シマセヌガ、此改正ノ主タルニ點ハ政府ハ唯今調査中

デアリマスルカラ同意ヲスルコトハ出來ヌノデアリマス、此意ヲ表明シテ置

キマス

○子爵堀田正養君 チヨツト質問致シマス、昨年モ郡制改正法案ト云フモノ

ガ議會ニ出マシテゴザイマスガ昨年ハ確カ政府委員ハ大地主ノ制ヲ廢シテモ、

差支ナイト云フ答辯ノヤウデゴザイマシタガ本年ハ又差支ヘルト云フコトデ

ゴザイマスカ、其事ヲ確カニ伺クテ置キタイ、昨年ト又本年トハ何カ御考ガ

○政府委員三崎龜之助君演壇ニ登ル

○政府委員(三崎龜之助君) 唯今申上グマスル通り昨年ハドノ政府委員ガ御答申シマタガ現内閣ヲ即チ現主務省ヲ調べマシテモ此制度ヲ

廢スルニハモウ少シ郡制ガ全國ニ施行セラレテ十分實際ニ行レテ居ル所ノ模様ヲ見ナケレバ廢スルト云フコトニ俄ニ同意ハ出來ヌノデアリマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 御質問ハナイト認メマス、次ノ日程ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○男爵小松行正君 矢張是モ議長ニ委託シテ九名ノ委員ヲ選舉アランコトヲ……

○伯爵大原重朝君 賛成

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ小松男爵ノ動議ノ通ニ致シマス

(「異議ナシト呼フ者アリ」)

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ニ府縣制改正法律案、是モ通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

(阪本書記官朗讀)

右憲法第三十八條ニ依リ貴院ニ提出候也

明治三十年三月六日

衆議院議長鳩山和夫

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス)

府縣制

第一章 總則

第一條 府縣ハ其ノ區域内ニ在ル都市及島嶼ヲ總括ス

府縣ハ法人トシ法律勅令ヲ以テ定メタル範圍内ニ於ケル公共事務及從來法律命令若ハ慣例ニ依リ並將來法律勅令ニ依リ府縣ニ屬スル事務ハ官ノ監督ヲ受ケテ之ヲ處理スルモノトス

本條ノ處分ニ付財產處分ヲ要スルトキハ内務大臣之ヲ定ム但特ニ法律ノ規程アルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第二章 府縣會

第一款 組織及選舉

第三條 府縣會ハ各選舉區ニ於テ選舉シタル議員ヲ以テ之ヲ組織ス
選舉區ハ一郡市ヲ以テ一選舉區ト爲スヘシ但東京市京都市大阪市ニ於テ選舉區ト爲スヘシ

第四條 府縣會議員ハ人口五十万未満ノ府縣ニ於テハ三十人ヲ定員トシ五

十万以上百万マテハ三万ヲ加フル毎ニ一人ヲ増シ百万以上ハ五万ヲ加フル毎ニ一人ヲ増ス

市部會郡部會ヲ設ケタル府縣ニ於テハ市若ハ郡ヨリ選出スヘキ議員ノ數十名ニ満タサルトキハ其ノ定數ヲ十名ト爲スヘシ

第五條 府縣會議員ノ配當法ハ主トシテ人口ヲ標準トシ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム

議員ノ定數ニ異動ヲ生シ又ハ議員ノ配當法ヲ改正スルトキハ議員ノ定期改選期ヲ待テ之ヲ増減スルモノトス但此ノ場合ニ於テ解任者ヲ定ムルニハ抽籤ヲ以テス

第六條 府縣内ノ市町村公民ニシテ市町村會議員ノ選舉權ヲ有シ且其ノ府縣内ニ於テ一年以來直接國稅年額五圓以上ヲ納ム者ハ府縣會議員ノ選舉權及被選舉權ヲ有ス

本條ニ規定スル直接國稅額ニ就テハ家督ニ依リ財產ヲ相續シタル者ハ前財產主ノ納稅額ヲ以テ其ノ納稅資格ニ算入ス

住居ヲ移シタル爲市町村ノ公民權ヲ失ヒタル者其ノ住居同府縣内ニ在リ住居ヲ除ク外其ノ他ノ要件ヲ失ハサルトキハ仍府縣會議員ノ被選舉權ヲ有ス

左ニ掲タル者ハ府縣會議員ノ被選舉權ヲ有セス

一 其ノ府(東京府ハ警)縣ノ官吏及有給吏員

二 檢事及警察官吏

三 神官僧侶又ハ諸宗ノ教師

四 小學校教員

府縣會議員ハ衆議院ノ議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第七條 府縣會議員ハ名譽職トス
府縣會議員ノ任期ハ四年トシ每二年其ノ半數ヲ改選ス若其ノ員數二分シ

難キトキハ初回ニ於テ多數ノ一半ヲ解任セシム初回ニ於テ解任スヘシ
ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

退任者ハ再選セラル、コトヲ得ス

第八條 議員中闕員アルトキハ遅クトモ二箇月以内ニ補闕選舉ヲ行フヘシ

補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間を職スルモノトス

第九條 町村長ハ每年九月十五日ヲ期トシ其ノ現在資格ニ依リ其ノ町村内ノ選舉人名簿一本ヲ調製シ其ノ一本ヲ十月一日マテニ郡長ニ送付スヘシ
郡長ハ町村長ヨリ送付シタル名簿ヲ合シ毎年十月十五日マテニ其ノ選舉

區ノ選舉人名簿ヲ調製スヘシ

第十條 市長ハ毎年九月十五日ヲ期トシ其ノ現在資格ニ依リ十月十五日マ

テニ其ノ選舉区内ノ選舉人名簿ヲ調製スヘシ

第十一條 選舉人其ノ住居スル市町村外ニ於テ直接國稅ヲ納ムルトキハ其

ノ納稅地ノ市町村長ノ證明書ヲ添ヘ九月十五日マテニ其ノ住居地ノ市町

村長ニ届出ツヘシ

前項ノ届出ヲ爲サルトキハ其ノ納稅額ハ選舉資格ニ算入セス

第十二條 郡市長ハ十月二十日ヨリ十五日間其ノ郡市役所ニ於テ選舉人名

簿ノ寫ヲ關係者ノ縱覽ニ供スヘシ

關係者ニ於テ選舉人名簿ニ關シ異議アルトキハ縱覽期限内ニ之ヲ郡市長

ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ郡市長ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨ

リ十日以内ニ於テ之ヲ決定シ申立人ニ通知スヘシ郡市長ニ於テ修正スヘ

シト決定シタルトキハ名簿ヲ修正スヘシ

選舉人名簿ハ十二月十五日ヲ以テ確定期限トシ確定名簿ハ次年ノ十二月

十五日マテ之ヲ据置クモノトス

確定名簿ニ登録セラレサル者ハ何人タリトモ選舉ニ關スルコトヲ得ス

本條都市長ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ府縣參事會ノ

裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

府縣參事會ノ裁決確定シ又ハ行政裁判所ノ判決アリタルニ依リ名簿ノ修

正スヘキモノアルトキハ郡市長ニ於テ其ノ通知ヲ受ケタル時ヨリ二十四

時間以内ニ之ヲ修正スヘシ

本條ニ依リ郡市長ニ於テ名簿ヲ修正シタルトキハ其ノ要領ヲ公告シ郡長

ハ本人住居地ノ町村長ニ通知スヘシ

訴願ノ裁決確定シ又ハ訴訟ノ判決アリタルニ依リ名簿ノ無効ト爲リタル

トキハ前名簿ニ記載スヘキ選舉人資格ニ依リ府縣參事會ノ指定シタル期日

マテニ新ニ名簿ヲ調製スヘキモノトス其ノ縱覽修正ニ關スル期限等ハ總

テ本條ノ例ヲ準用ス

第十三條 府縣會議員ノ選舉ハ郡市長之ヲ管理スヘシ

第十四條 府縣知事ハ選舉ノ日ヨリ少クトモ三十日前選舉ヲ行フヘキ郡市

ノ名投票ヲ行フヘキ月日及選舉スヘキ議員ノ數ヲ管内ニ告示スヘシ

第十五條 投票所ハ市役所町村役場又ハ市町村長ノ指定シタル場所ニ於テ

之ヲ設ケ市町村長其ノ事務ヲ管理ス

第十六條 市町村長ハ其ノ管理スル投票區域内ニ於ケル選舉人中ヨリ臨時

ノ立會人二名以上五名以下ヲ選任スヘシ

第十七條 投票ハ午前八時ニ始メ午後五時ニ終フ

第十八條 選舉人ノ外何人タリトモ投票所ニ入ルコトヲ得ス

選舉人ハ投票所ニ於テ協議又ハ勸誘ヲ爲スコトヲ得ス

第十九條 選舉ハ投票ヲ以テ之ヲ行フ投票ハ選舉人自ラ選舉人名簿ノ對照

ヲ經テ投票函ニ投入スヘシ
投票ニハ選舉人自ラ投票所ニ於テ被選舉人ノ氏名ヲ記シ次ニ自己ノ氏名

及住所ヲ記シテ捺印スヘシ

第二十條 選舉人ニシテ文字ヲ書スルコト能ハサル由ヲ申立ツルトキハ市

町村長ハ吏員ヲシテ代書セシメ之ヲ本人ニ讀ミ聞カセ捺印投票セシメ其

ノ由ヲ投票錄ニ記載スヘシ

第二十一條 市町村長ハ投票錄ヲ製シ投票ニ關スル顛末ヲ記録シ立會人ト

共ニ之ニ署名捺印スヘシ

第二十二條 町村長ハ一名ノ立會人ト共ニ投票ノ翌日投票函及投票錄ヲ併

セテ郡役所ニ送致スヘシ

第二十三條 一選舉區内ニ在ル島嶼其ノ他遠隔ノ地ニシテ前條ノ期日マテ

ニ投票函ヲ送致スル能ハサル情況アルトキハ府縣知事ハ適宜ニ其ノ投票

期日ヲ定メ選舉會ノ期日マテニ其ノ投票函ヲ送致セシムルコトヲ得

第二十四條 選舉會ハ郡役所市役所又ハ郡市長ノ指定シタル場所ニ於テ之ヲ開ク

第二十五條 郡長ハ各投票所ヨリ參會シタル立會人ノ中ヨリ抽籤ヲ以テ選

舉掛三名以上七名以下ヲ定ムヘシ

市長ハ選舉人ノ中ヨリ選舉掛三名以上七名以下ヲ選任スヘシ

第二十六條 郡市長若ハ其ノ代理者ハ自ラ選舉掛長ト爲リ郡ニ在テハ投票

函送達ノ翌日市ニ在テハ投票ノ翌日選舉掛立會ノ上投票函ヲ開キ投票ノ

總數ト投票人ノ總數トヲ計算スヘシ若投票ト投票人トノ總數ニ差異ヲ生

シタルトキハ其ノ由ヲ選舉錄ニ記載スヘシ但場合ニ依リ選舉會ハ郡ニ在

テハ投票函送達ノ日市ニ在テハ投票ノ日直ニ之ヲ開クコトヲ得

前項ノ計算終リタルトキハ掛長ハ選舉掛ト共ニ投票ヲ點檢スヘシ

第二十七條 選舉人ハ其ノ選舉會ニ參觀ヲ求ムルコトヲ得

第二十八條 投票ニ記載ノ人員其ノ選舉スヘキ定數ニ過キ又ハ不足アルモ

其ノ投票ヲ無効トセス其ノ定數ニ過クルモノハ末尾ニ記載シタル人名ヲ

順次ニ棄却スヘシ

左ノ投票ハ之ヲ無効トス

一 被選舉人ノ氏名讀ミ難キモノ

二 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ

三 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載スルモノ

以上三種ノ投票中他ニ列記ノ被選舉人ニ就テハ仍其ノ效アリトス

四 選舉人被選舉人ノ氏名ヲ記載セサルモノ

五 選舉人ノ氏名讀ミ難キモノ

六 選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ

七 選舉人名簿ニ記載ナキ者ノ投票

八 第十九條第二項ニ規定シタル外他事ヲ記入スルモノ但爵位職業身分

住所又へ敬稱ノ類ヲ記スルモノハ無効ト爲スノ限ニ在ラス

九 投票用紙ヲ一定シタル場合ニ於テ其ノ用紙ヲ用ヰナルモノ

第二十九條 投票ノ效力ニ關スル事項ハ選舉掛之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ掛長之ヲ決ス

第三十條 議員ノ選舉ハ有效投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス投票ノ數相同キモノハ年長者ヲ取り同年月ナルトキハ掛長自ラ抽籤シテ其ノ當選ヲ定ム

同時ニ補闕員數名ヲ選舉スルトキハ投票數ノ多キ者ヲ以テ殘任期ノ長キ前任者ノ補闕ト爲シ投票ノ數相同キトキハ掛長自ラ抽籤シテ其ノ順序ヲ定ム

第三十一條 選舉掛ハ選舉錄ヲ製シテ選舉ノ顛末ヲ記録シ之ニ署名捺印シ選舉人名簿投票錄其ノ他關係書類ト共ニ少クトモ四年間之ヲ保存スヘシ

投票ハ之ヲ選舉錄ニ附屬シ選舉ノ效力確定スルニ至ルマテ之ヲ保存スヘシ

第三十二條 選舉ヲ終リ當選人定マリタルトキハ選舉掛長直ニ當選人ニ通知シ同時ニ府縣知事ニ報告スヘシ

當選人當選ノ通知ヲ受ケタルトキハ十日以内ニ其ノ當選ヲ承諾スルヤ否ヲ府縣知事ニ届出シヘシ

一人ニシテ數選舉區ノ選舉ニ當リタルトキハ當選ノ通知ヲ受ケタル最終ノ日ヨリ十日以内ニ何レノ選舉ニ應スヘキコトヲ府縣知事ニ届出シヘシ

定期改選ト補闕選舉トヲ同時ニ行ヒタル場合ニ於テ一人ニシテ其ノ兩選舉ニ當リタルトキ亦前項ノ例ヲ適用ス

前三項ノ届出ヲ其ノ期限内ニ爲サルトキハ當選ヲ辭シタル者ト看做スヘシ

第三十三條 議員ノ當選ヲ辭シタル者アルトキハ更ニ選舉ヲ行ハシムヘシ

二人以上投票同數ニシテ年長ニ依テ當選シタル者其ノ當選ヲ辭シタルトキハ年少ニ依リ當選セサリシ者ヲ以テ當選人トス但年少ニ依テ當選セサリシ者二人以上アルトキハ第三十條第一項ノ例ヲ適用ス

二人以上投票同數ニシテ抽籤ニ依テ當選シタル者其ノ當選ヲ辭シタルトキハ抽籤ノ爲當選セサリシ者ヲ以テ當選人トス但抽籤ノ爲當選セサリシ者二人以上アルトキハ掛長自ラ抽籤シテ其ノ當選ヲ定ム

第三十四條 當選人確定シタルトキハ府縣知事ハ直ニ當選證書ヲ附與シ及管内ニ告示スヘシ

第三十五條 選舉人選舉ノ效力ニ關シテ訴願セムトスルヤキハ選舉ノ日ヨリ十四日以内ニ府縣參事會ニ申立ツルコトヲ得

前項府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得第三十六條 選舉ノ規程ニ違背スルコトアルトキハ其ノ事ノ輕微ニシテ選舉ノ結果ニ異動ヲ生セサル場合ヲ除ク外其ノ選舉ヲ無效トス

當選人中資格要件ヲ有セサル者アルトキハ其ノ當選ヲ無効トス
選舉若ハ當選無効ト確定シタルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ

第三十七條 議員中資格要件ヲ有セサル者アルトキハ其ノ職ヲ失フモノトス其ノ要件ノ有無ハ府縣參事會之ヲ決定ス

府縣會ニ於テ其ノ議員中資格要件ヲ有セサル者アルコトヲ發見スルトキハ之ヲ府縣知事ニ通知スヘシ

府縣知事ハ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ府縣參事會ノ議ニ付スヘシ

府縣知事若ハ府縣參事會ニ於テ發見シタルトキ亦同シ

本條府縣參事會ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

府縣會議員ハ其ノ資格要件ヲ有セストスル決定確定シ又ハ判決アルマテ議會ニ於テ登列及發言ノ權ヲ失ハス但自身ノ資格審查ニ關スル會議ニ對シテハ辯明スルコトヲ得ルモ其ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

第三十八條 東京市京都市大阪市ニ於テハ市長ノ職務關係ハ區長ニ屬セシメ又市トアルハ區、市役所トアルハ區役所ト看做シ本款ノ規程ヲ適用ス

町村組合ニシテ組合會ヲ設ケ町村一切ノ事務ヲ共同處理スルモノハ之ヲ一町村ト看做シ本款ノ規程ヲ適用ス

第三十九條 府縣會議員ノ選舉ニ關シテハ衆議院議員ノ選舉ニ關スル罰則ヲ適用ス

第二款 職務權限及處務規程

第四十條 府縣會ノ議決スヘキ事件左ノ如シ

一 府縣費ヲ以テ支辨スヘキ事業但法律命令若ハ慣例ニ依リ別段ノ規定

アルモノハ此ノ限ニ在ラス

二 府縣ノ歲入出豫算ヲ定ムル事

三 決算報告ヲ認定スル事

四 府縣稅及夫役現品ノ賦課徵收ノ方法ヲ定ムル事

五 法律命令ニ定ムルモノヲ除ク外使用料手數料ノ賦課徵收ノ方法ヲ定ムル事

六 府縣有不動產ノ賣買交換讓渡讓受並質入書入ノ事

七 積立金穀等ノ處分ヲ爲ス事

八 歲入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ棄却ヲ爲ス事

九 府縣有財產及府縣ノ營造物ノ管理方法ヲ定ムル事

其ノ他法律命令ニ依リ府縣會ノ權限ニ屬スル事項

第四十二條 府縣會ハ府縣ノ全部又ハ一部ノ利害ニ關スル事項ニ付意見書ヲ府縣知事若ハ内務大臣ニ差出スコトヲ得

第四十三條 府縣會ハ官廳ノ諮詢アルトキハ意見ヲ答申スヘシ

第四十四條 府縣會議員ハ選舉人ノ指示若ハ委嘱ヲ受クヘカラサルモノトス

第四十五條 府縣會議員ハ自己及其ノ父母兄弟姉妹若ハ妻子ノ一身上ニ關スルモノトス

スル事件ニ就テハ會議ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ府縣會ノ議事ニ參與シ及

其ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

前項除席ノ爲ニ議員ノ數減少シテ會議ヲ開ク定數ニ満タルトキモ仍會

議ヲ開クコトヲ得

第四十六條 府縣會ハ府縣會議員中ヨリ議長副議長各一名ヲ選舉スヘシ

議長及副議長ハ府縣會議員ノ定期改選期日ノ前日マテ在職スルモノトス

議長副議長共ニ故障アルトキハ臨時議長ヲ選舉スヘシ

第四十七條 府縣知事若ハ特ニ府縣知事ノ委任ヲ受ケタル府縣ノ官吏及吏

員ハ府縣會ノ議事ニ參與スルコトヲ得但議決ノ數ニ加ハルコトヲ得ス

前項ノ列席者ニ於テ發言ヲ求ムルトキハ議長ハ何時ニテモ之ヲ許スヘシ

第四十八條 府縣會ハ毎年一回通常會期ヲ開ク通常會期バ三十日以内トス其

ノ他必要アルトキハ其ノ事件ニ限り七日以内ヲ會期トシ臨時會ヲ開クコトヲ得

市部會郡部會ヲ設ケタル府縣ニ於テハ七日以内府縣會ノ通常會期ヲ延長

市部會郡部會ヲ設ケタル府縣ニ於テハ七日以内府縣會ノ通常會期ヲ延長

スルコトヲ得

府縣會ハ府縣知事之ヲ招集ス其ノ招集ハ開會ノ日ヨリ少クトモ十四日以前ニ告示スヘシ

但急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

府縣會ハ府縣知事之ヲ開閉ス

第四十九條 府縣會ハ議員定員ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

第五十條 府縣會ノ議決ハ過半數ニ依ル可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第五十一條 府縣會ニ於テ選舉ヲ行フトキハ一名毎ニ匿名投票ヲ爲シ有效投票ノ過半數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス若過半數ヲ得タル者ナキトキハ

最多數ヲ得タル者二名ヲ取リ之ニ就テ決選投票セシム其ノ二名ヲ取ルニ

當リ同數者アルトキハ年長者ヲ取リ同年月ナレハ抽籤シテ之ヲ定ム

ハ年長者ヲ取リ同年月ナレハ抽籤ヲ以テ當選ヲ定ム其ノ他ハ第二十八條

ヲ適用ス
議長選舉ノ場合ニハ議員中ノ年長者ヲ以テ假議長トス
第五十二條 府縣會ノ會議ハ公開ス但府縣知事ノ要求アリタルトキ又ハ議長若ハ議員三名以上ノ發議ニ依リ可決シタルトキハ傍聽ヲ禁スルコトヲ得議長若ハ議員ノ發議ハ討論ヲ用井シテ其ノ可否ヲ決スヘシ

第五十三條 東京府京都府大阪府ニ於テハ府會ノ職權ニ屬スル事件ニシテ

專ラ東京市京都市大阪市ニ關スルモノト其ノ他ノ部分ニ開スルモノトヲ分別議定セシムル爲市部會及郡部會ヲ設クヘシ

其ノ他ノ縣ニ於テ前項ノ例ニ依リ市部會郡部會ヲ設ケムトスルトキハ縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

市部會郡部會ニ於テ議定スヘキ事件ト府縣會ニ於テ議定スヘキ事件トハ

ルコトヲ得ス郡部議員ハ市部會ノ會議ニ參與スルコトヲ得ス

市部會郡部會ハ各其ノ議員中ヨリ議長及副議長各一名ヲ選舉スヘシ

第五十四條 議長ハ會議ノ事ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ開

閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第五十五條 議員ハ會議中無禮ノ語ヲ用ヰ又ハ他人ノ身上ニ涉リ言論スルコトヲ得ス

會議中此ノ法律若ハ會議規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊ル議員アルトキハ議長ハ之ヲ警戒シ若ハ制止シ又ハ發言ヲ取消サシム命ニ從ハサルトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ終ルマテ發言ヲ禁止シ又ハ議場ノ外ニ退去セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

議場騒擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之ヲ閉

ツルコトヲ得

第五十六條 傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧騒ニ涉リ其ノ他議事ノ妨害ヲ爲ス者アルトキハ議長ハ之ヲ警戒シ若ハ制止シ若命ニ從ハサルトキハ之ヲ退場セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

傍聽席騒擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第五十七條 議場ノ秩序ヲ紊リ又ハ會議ノ妨害ヲ爲ス者アルトキハ議員若ハ第四十七條ノ列席者ハ議長ノ注意ヲ喚起スルコトヲ得

第五十八條 議場ノ秩序ヲ紊リ又ハ會議ノ妨害ヲ爲ス者アルトキハ議員若ハ第四十七條ノ列席者ハ議長ノ注意ヲ喚起スルコトヲ得

第五十九條 府縣會ニ書記ヲ置キ議長ニ隸屬シテ庶務ヲ處理セシム

前項ノ警察官吏ハ第五十五條第五十六條ニ依リ議長ノ指揮ニ從フモノトス

第六十條 議長ハ書記ヲシテ會議錄ヲ製シ會議ノ顛末並出席議員ノ氏名ヲ記録セシムヘシ會議錄ハ議長及議員二名以上之ニ署名捺印スルヲ要ス

其ノ議員ハ府縣會ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第六十一條 府縣會ハ内務大臣ノ認可ヲ得テ會議規則及傍聽人取締規則ヲ

設クヘシ其ノ會議規則ニハ之ニ違背シタル議員ニ對シ府縣會ノ議決ニ依

リ七日以内出席ヲ停止スル規程ヲ設クルコトヲ得

府縣知事ノ指任スル事務ノ概目左ノ如シ

一 府縣會及府縣參事會ノ議事ヲ準備シ並其ノ議決ヲ執行スル事
二 府縣有財產及府縣ノ營造物ヲ管理スル事但特ニ之カ管理者アルトキハ其ノ事務ヲ監督スル事

三 府縣ノ權利ヲ保護スル事

四 府縣ノ歲入ヲ管理シ歲入出豫算其ノ他府縣會若ハ府縣參事會ノ議決ニ依テ定マリタル收入支出ヲ命令シ會計及出納ヲ監視スル事

五 府縣ノ諸證書及公文書類ヲ保管スル事

六 外部ニ對シテ府縣ヲ代表シ及府縣ノ名義ヲ以テ他廳若ハ一個人ト交渉スル事

七 法律命令又ハ府縣會若ハ府縣參事會ノ議決ニ依リ使用料手數料府縣稅及夫役現品ヲ賦課徵收スル事

八 其ノ他法律命令若ハ上司ノ指令ニ依リ府縣知事ノ權限ニ屬スル事項

九 第七十六條 府縣知事ハ府縣ノ行政ニ關シ府縣令ヲ發スルコトヲ得

十 第七十七條 府縣知事ハ府縣吏員ヲ監督シ懲戒處分ヲ行フ其ノ懲戒處分ハ譴責、二十五圓以下ノ過怠金及解職トス

十一 前項解職處分ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

十二 第一項ノ解職處分ヲ爲シタルトキハ其ノ確定ニ至ルマテ職務ノ執行ヲ停止ス

十三 第七十八條 府縣會若ハ府縣參事會ノ議決其ノ權限ヲ越エ又ハ法律命令ニ背クト認ムルトキハ府縣知事ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ内務大臣ノ指令ニ依リ理由ヲ示シテ直ニ其ノ議決ヲ取消シ若ハ再議ニ付シタル上仍其ノ議決ヲ改メサルトキ之ヲ取消スヘシ其ノ取消ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

十四 府縣會若ハ府縣參事會ノ議決公益ニ害アリト認ムルトキハ府縣知事ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ内務大臣ノ指令ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ直ニ内務大臣ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ

十五 第七十九條 府縣知事ハ必要アル場合ニ於テハ期日ヲ定メテ府縣會ノ中止ヲ命スルコトヲ得

十六 第八十條 府縣會若ハ府縣參事會ノ議決公益ニ害アリト認ムルトキハ府縣知事ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ内務大臣ノ指令ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ直ニ内務大臣ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ

十七 第八十一條 府縣會若ハ府縣參事會招集ニ應セス若ハ成立セサルトキハ府縣知事ハ内務大臣ニ具狀シテ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スヘキ事件ヲ處分スルコトヲ得

十八 第八十二條 府縣會若ハ府縣參事會ニ於テ必要ノ收支ニ關シ否決シ又ハ不當ノ削減ヲ爲シタルトキハ府縣知事ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ内務大臣ノ指令ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ内務大臣ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ

十九 第八十三條 府縣會若ハ府縣參事會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セス若ハ議了セ

二十 第八十四條 府縣會若ハ府縣參事會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セス若ハ議了セ

二十一 第八十五條 府縣知事ハ府縣參事會ノ職權ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲトキハ之ヲ專決シ次回ノ會議ニ於テ其ノ處分ヲ報告スヘシ

二十二 第八十六條 委員ハ府縣知事ノ指揮監督ニ屬シ府縣事務ノ一部ヲ調査シ又ハ府縣有財產若ハ府縣ノ營造物ヲ管理ス

二十三 第八十七條 府縣吏員ノ服務規律ハ内務大臣之ヲ定ム

二十四 第八十八條 有給府縣吏員ノ給料並旅費日當額及其ノ支給方法ハ府縣會ノ議決ヲ經テ府縣知事之ヲ定ム

二十五 第八十九條 名譽職員ニハ旅費報酬ヲ給スルコトヲ得但其ノ支給額及支給方法ハ府縣會ノ議決ヲ經テ府縣知事之ヲ定ム

二十六 第九十條 給料旅費報酬日當退隱料遺族扶助料ハ府縣ノ負擔トス
第一款 府縣ノ財務
二十七 第一百一十條 府縣有財產府縣ノ營造物及府縣稅
二十八 第一百一十一條 府縣ハ内務大臣ノ許可ヲ得テ積立金穀等ヲ設クルコトヲ得
二十九 第一百一十二條 府縣ハ内務大臣ノ許可ヲ得テ國府縣郡市町村其ノ他公共團體若ハ一個人ノ事業ニ對シ寄附若ハ補助ヲ爲スコトヲ得

三十 第一百一十三條 府縣ノ必要ナル諸費及從來法律命令若ハ慣例ニ依リ並將來法律命令ニ依リ府縣ノ負擔ト定メタル費用ハ其ノ府縣ニ於テ之ヲ支辨スヘシ

三十一 第一百一十四條 府縣ノ支出ハ府縣稅其ノ他府縣ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

三十二 第一百一十五條 府縣稅目及府縣稅ノ賦課徵收方法ニ關シテハ此ノ法律中規程アルモノヲ除ク外追テ勅令ヲ以テ定ムラマテ從前地方稅ニ關スル規程ニ依ル

三十三 第一百一十六條 府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ得テ其ノ府縣内ノ市ニ家屋稅ヲ賦課スルコトヲ得

第九十七條 府縣内ニ土地家屋其ノ他物件ヲ所有シ又ハ府縣内ニ於テ營業所ヲ定メ營業ヲ爲シ又ハ府縣内ニ於テ特定ノ行爲ヲ爲ス者ハ土地家屋物

件營業若ハ其ノ所得ニ對シ又ハ行爲ニ對シテ賦課スル府縣稅ヲ納ムル義務アルモノトス其ノ法人タルトキ亦同シ但官業ハ此ノ限ニ在ラス

府縣内ニ一戸ヲ構ヘ三箇月以上ニ及フ者ハ戸數ニ對シテ賦課スル府縣稅ヲ納ムル義務アルモノトス但其ノ課稅ハ一戸ヲ構ヘタル初ニ遡リ徵收スヘシ

第九十八條 府縣稅ノ賦課ニ就テハ府縣外ニ於テ所有スル土地家屋物件若ハ營業所ヲ定メタル營業ノ所得ハ賦課ノ標準ニ算入スルコトヲ得ス

第九十九條 市町村内ニ於テ徵收スル府縣稅賦課ノ細目ニ係ル事項ハ府縣會ノ議決ニ依リ關係市町村會ノ議決ニ付スルコトヲ得ス

前項市町村會ノ議決ハ法律命令又ハ府縣會ノ議決ニ抵觸スルコトヲ得ス」市町村會ニ於テ府縣會ノ指定シタル期限内ニ其ノ議決ヲ爲サルトキハ府縣參事會之ヲ議決スヘシ

第一百條 府縣稅ノ免除ニ關シテハ法律命令ヲ以テ別段ノ規程ヲ設クルモノヲ除ク外市町村稅免除ノ規程ニ依ル

前項市町村會ノ議決ハ納稅義務ノ起リタル翌月ノ初ヨリ免稅理由ノ生シタル月ノ終マテ月割ヲ以テ之ヲ徵收スヘシ但日割ヲ以テ徵收スルモノハ此ノ限ニ在ラス

納稅義務消滅シ又ハ變更スルトキハ納稅者ヨリ之ヲ當該行政廳ニ届出ツヘシ其ノ届出ヲ爲シタル月ノ終マテハ從前ノ稅ヲ徵收スルモノトス

土地家屋物件ヲ目的トシ納期ヲ定メテ一定ノ額ヲ賦課スル府縣稅ハ其ノ納期ニ於テ納稅義務ヲ負フ者其ノ額ヲ納ムヘシ

府縣稅ノ前納ニ係ルモノニシテ徵收後納稅義務ノ消滅シ又ハ移轉シタル場合ト雖之ヲ還付セス但納稅義務ノ移轉ヲ受ケタル者ハ其ノ前納期限ノ終マテ納稅セサルモノトス

第一百二條 府縣稅ノ賦課ヲ受ケタル者ニシテ其ノ課目課額ニ錯誤アリト認ムルトキハ徵稅令書若ハ徵稅傳令書交付後三箇月以内ニ其ノ令書ヲ發シタル行政廳ニ申立ツルコトヲ得但申立ノ爲其ノ納稅ヲ拒ムコトヲ得ス

前項ノ申立ヲ爲シタル後二十日以内ニ其ノ更正ヲ得サルトキ又ハ其ノ更正ヲ得ルモノニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得ス

第一百三條 府縣稅ノ免稅若ハ納稅ノ延期ハ特別ノ事情アル者ニ限リ府縣知アル者ハ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得ス

前項府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ市内ノ納稅者ニ在テハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ郡參事會ノ裁決ニ不服

第一百四條 市部會郡部會ヲ設ケタル府縣ニ在テハ府縣稅ヲ市部及郡部ニ分賦ス其ノ分賦ノ割合ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事ニ於テ府縣參事會ノ議決ヲ經テ之ヲ許スコトヲ得ス

第一百五條 市制施行ノ府縣ニ在テハ郡廳舍建築修繕費郡吏員給料旅費及廳費ハ市ヲ除キ其ノ他ノ部分ニ於テ之ヲ負擔スルモノトス

前項ノ府縣ニ在テハ其ノ府縣ノ支出費目中市ト其ノ他ノ部分ト利害ノ厚薄ヲ異ニシ均一ノ負擔ヲ爲サンムルコトヲ得サルモノアルトキハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ其ノ費目ニ限り割合ヲ定メテ其ノ一方ノ負擔ヲ増加スルコトヲ得若内務大臣ニ於テ負擔ノ割合ヲ不適當ト認ムルトキハ其ノ職權ヲ以テ之ヲ確定ス

第一百六條 府縣ハ府縣内ニ或ル部分ニ對シ特ニ利益アル事業ニ關シテハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ該部分ニ對シ其ノ利益ノ厚薄ニ準シ其ノ負擔ヲ増課シ又ハ夫役現品ヲ賦課スルコトヲ得

第一百七條 府縣ハ府縣有財產若ハ府縣ノ營造物ノ使用ニ付又ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付使用料又ハ手數料ヲ徵收スルコトヲ得

第一百八條 府縣稅使用料手數料其ノ他府縣ノ公法上ノ收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ國稅滯納處分法ニ依リ之ヲ處分スヘシ其ノ督促及手數料ニ關シテハ内務大臣ノ許可ヲ得テ特例ヲ設クルコトヲ得

本條ニ記載スル徵收金ノ追徵還付期滿免除ニ就テハ國稅ニ關スル例ヲ適用ス

第一百九條 府縣ハ其ノ負債ヲ償還スル爲若ハ天災事變等ノ爲已ムヲ得サル支出又ハ府縣ノ永久ノ利益ト爲ルヘキ支出ヲ要スルニ方リ通常ノ歲入ヲ增加スルトキハ府縣ノ負擔ニ堪ヘサル場合ニ限リ府縣會ノ議決ヲ經テ府縣債ヲ起スコトヲ得

府縣債ヲ起ス議決ヲ爲ストキハ併セテ起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定ムヘシ

府縣債償還ノ初期ハ起債ノ時ヨリ三年以内ト爲シ年々ノ償還歩合ヲ定メ起債ノ時ヨリ三十年以内ニ還了スヘシ

歲入出豫算内ノ支出ヲ爲スカ爲必要ナル一時ノ借入金ニシテ其ノ年度ノ收入ヲ以テ償還スヘキモノハ本條ニ依ル限ニ在ラス但府縣參事會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

第二款 府縣歲入出豫算及決算

第一百十條 府縣知事ハ毎年其ノ翌年度ニ關スル歲入出豫算ヲ調製スヘシ但府縣ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ

豫算ヲ府縣會ニ提出スルトキハ府縣知事ハ併セテ其ノ府縣有財產明細表ヲ提出スヘシ

第一百十一條 府縣知事ハ必要ノ場合ニ於テハ府縣會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加若ハ更正ヲ爲スコトヲ得

第一百十二條 府縣ノ費用ヲ以テ支辨スル事業ニシテ數年ヲ期シテ施行スヘキモノ又ハ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ府縣會ノ議決ヲ以

テ其ノ年期間各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第百十三條 歳入出豫算中ニ豫備費ヲ設ケ府縣知事ニ於テ府縣參事會ノ議

決ヲ經テ豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツルコトヲ得但府縣會ノ否決シタル費用ニ充ツルコトヲ得ス

第百十四條 豫算ハ府縣會ノ議決ニ付スルノ前府縣參事會ノ審查ニ付スヘシ若府縣知事ト府縣參事會ト意見ヲ異ニスルトキハ府縣知事ハ府縣參事會ノ意見ヲ豫算ニ添ヘ府縣會ニ提出スヘシ

内務大臣ハ省令ヲ以テ豫算調製ノ式ヲ定メ並費用流用ニ關スル規程ヲ設クルモノトス

豫算ハ其ノ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ内務大臣ニ報告シ並其ノ要領ヲ告示スヘシ

第百十五條 府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ府縣ニ特別會計ヲ設クルコトヲ得

第百十六條 會計事務ヲ管理スル官吏ハ府縣知事ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス又其ノ命令アルモ支出ノ豫算ナキカ又ハ豫備費支出及費用流用ノ規程ニ依ラサルトキハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

第百十七條 決算ハ府縣知事會計事務ヲ管理スル官吏ニ命シテ會計年度後三箇月以内ニ調製シ府縣參事會ノ審査ヲ經テ之ヲ次回ノ通常府縣會ノ認定ニ付スヘシ

決算報告書立之ニ關スル府縣會ノ議決ハ府縣知事ヨリ之ヲ内務大臣ニ報告シ並決算ハ其ノ要領ヲ告示スヘシ

第六章 監督

第百十八條 府縣ノ行政ハ内務大臣之ヲ監督ス

第百十九條 此ノ法律ニ規定スル訴願ハ別段ノ規程アル場合ヲ除ク外處分ヲ爲シ又ハ決定書若ハ裁決書ヲ交付シタル日ヨリ十四日以内ニ其ノ理由ヲ具シテ提起スヘン

此ノ法律ニ指定スル行政訴訟ハ處分ヲ爲シ又ハ決定書若ハ裁決書ヲ交付シタル日ヨリ二十一日以内ニ提起スヘシ

第百二十條 内務大臣ハ府縣行政ノ法律命令ニ背戾セサルヤ其ノ事務錯亂

又ハ監視スヘシ内務大臣ハ之カ爲行政事務ニ關シテ報告ヲ爲サシメ豫算及決算等ノ書類帳簿ヲ徵シ並實地ニ就テ事務ノ現況ヲ視察レ出納ヲ檢閱スルノ權ヲ有ス

内務大臣ハ府縣行政ヲ監督スル爲ニ必要ナル命令ヲ發シ處分ヲ爲スノ權ヲ有ス

第百二十一條 内務大臣ハ府縣ノ豫算中不適當ノ支出ト認ムモノアルトキハ之ヲ削減スルコトヲ得其ノ支出ヲ削減シタル場合ニ於テハ之ニ相當スル收入ヲ削減スヘシ

第百二十二條 府縣會ノ解散ハ勅裁ヲ經テ内務大臣之ヲ命ス此ノ場合ニ於

テハ三箇月以内ニ議員ヲ選舉スヘシ

前項解散ノ場合ニ於テハ名譽職參事會員モ亦解職スルモノトス

第百二十三條 左ニ掲クル事件ハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

一 府縣債ヲ起シ並起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ若ハ變更スル事但第百九條末項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス

二 地租四分一ヲ超過スル府縣稅ヲ土地ニ賦課スル事

三 國庫ヨリ交付スル補助金ニ對シ支出金額ヲ定メ若ハ變更スル事

四 使用料手數料ヲ新設シ若ハ變更スル事

五 積立金穀等ノ處分ヲ爲ス事

三 府縣有不動產ノ賣却交換讓渡並質入書入ノ事

四 繼續費ヲ定メ若ハ變更スル事

五 繼續費ヲ定メ若ハ變更スル事

第七章 附則

第一百二十五條 府縣内ニ在ル島嶼ノ行政ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第一百二十六條 此ノ法律ニ依リ始メテ議員ヲ選舉スルニ付府縣會及府縣參事會ノ職務ハ府縣知事ニ於テ之ヲ行フヘシ

第一百二十七條 市制町村制施行ノ爲定メタル直接稅ノ種類ハ此ノ法律ノ施行ニ關シテモ亦之ヲ適用ス

第一百二十八條 此ノ法律施行ノ後ハ市制第百二十二條第三ニ定ムル附加稅徵收ノ許可ハ地租四分一ヲ超過スルトキ之ヲ要スルモノトス

第一百二十九條 此ノ法律ハ郡制ヲ施行シタル各府縣ニ施行スルモノトスノ内務大臣及大藏大臣之ヲ告示スヘシ

第一百三十條 明治十三年第十五號布告府縣會規則明治十四年第八號布告ノ施行ノ時期ハ府縣知事ノ具申ニ依リ内務大臣之ヲ定ム

第一百三十條 明治十二年法律第六號府縣會議員選舉規則其ノ他此ノ法律ニ抵觸スル從前ノ成規ハ此ノ法律ヲ行フ地ニ關シテハ其ノ效力ヲ失フ

○ 政府委員(三崎龜之助君演壇ニ登ル) 是モ郡制ニ比較致シマスレバ唯今實施サレテ

發布スヘシ
(政府委員三崎龜之助君演壇ニ登ル)

ル縣ハ甚ダ僅カデゴザイマス、依ツテ此改正ノ他ノ點ハ免モ角モ主タル複選法ヲ廢スルト云フ案ニハ郡制ニ反對スル同様ノ理由ヲ以テ俄ニ同意ヲ表スルコトが出來ヌノデゴザリマス、此意ヲ表明シテ置キマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 右議案ノ審查ヲ付託スペキ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○男爵小松行正君 是モ議長ニ委託シテ九名ノ委員ヲ選舉セラレンコトヲ

○伯爵大原重朝君 贊成

○男爵中川興長君 此委員ハ前ノ郡制改正法律案ト同一ノ委員ニ付託ニナラ

○子爵堀田正養君 中川男爵ニ賛成

○何禮之君 中川男爵ニ賛成

○議長(公爵近衛篤齊君) 小松男爵ノ御動議ハドウデスカ

○男爵小松行正君 本員ノハ退キマシテ宜シウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤齊君) ソレデハ中川男爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

然ラバ其通決シマス、ドウモ定足數ガ缺ケサウデゴザイマスカラ、本日ハ是ニ止メマス、先刻御依頼ニナリマシタ委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス

集會及政社法中改正法律案特別委員

子爵谷 干 城君 子爵大河内 正 賢君 子爵一柳 末 德君

子爵松平 乘 承君 男爵青 山 貞君 松岡 康 毅君

男爵伊達 宗 敦君 男爵西五辻 文 伸君 久保田 讓君

侯爵細川 護 成君 伯爵立花 寛 治君 子爵佐竹 義 理君

子爵高野 宗 順君 原 田 一 道君 調 所 廣 文君

長谷川 貞 雄君 兒 玉 淳 一 郎君 澤 簡 德君

子爵曾我 祐 準君 子爵堤 功 長君 岩 村 定 高君

男爵寺島 秋 介君 男爵中川 興 長君 渡 正 元君

折田 平 内君 磯 邊 包 義君 澤 原 爲 綱君

豫定鐵道線路中私設鐵道會社 二敷設許可ノ件ニ關スル法律案及鐵道敷設法中改正法律案特別委員

子爵大原 重 朝君 子爵本 莊 壽 亘君 村 田 定 高君

子爵由 利 公 正君 三 宅 秀君 山 田 卓 介君 和 君

水害地方地租特別處分法案特別委員 千 里 盛 輝君

山 川 真 吾君 富 田 鐵 之 助君 千 里 高 雅君

吉 田 三 右 衛 門君 渡 邊 善 吉君

千葉縣茨城縣境界變更法律案特別委員

侯爵醍醐 忠 順君 子爵本 多 正 憲君 男爵尾崎 三 良君

男爵千 家 尊 福君 男爵小 澤 武 雄君 男爵船越 喬 君

男爵菊池 武 臣君 山 崎 慎 三君 五十嵐敬止君

郡制改正法律案及府縣制改正法律案特別委員

伯爵正親町 實 正君 子爵谷 干 城君 男爵神山 郡廉君

山 脩 三 浦 安君 男爵末 松 謙 澄君 西村 亮吉君

ニ及ビマス

○議長(公爵近衛篤齊君) 明日ハ一日休會ヲ致シマス、十五日ノ日程ヲ報告

〔中根書記官長朗讀〕

午前十時開議

第一 貨幣法案(政府提出衆議院送付)

第一 論會

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一 論會

第三 貨幣整理資金特別會計法案(政府提出衆議院送付)

第一 論會

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一 論會

第五 明治十七年第十八號布告兌換銀行券條例中改正法律案(政府提出衆議院送付)

第一 論會

第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一 論會

第七 明治十八年第十四號布告中改正法律案(政府提出衆議院送付)

第一 論會

第八 第二十三號改正法律案(政府提出衆議院送付)

第一 論會

第九 第二十一號改正法律案(政府提出衆議院送付)

第一 論會

第十 第二十二號改正法律案(政府提出衆議院送付)

第一 論會

第十一 第二十三號改正法律案(政府提出衆議院送付)

第一 論會

第十二 第二十四號改正法律案(政府提出衆議院送付)

第一 論會

第十三 第十五號改正法律案(政府提出衆議院送付)

第一 論會

第十四 第十六號改正法律案(政府提出衆議院送付)

第一 論會

第十五 第十七號改正法律案(政府提出衆議院送付)

第一 論會

第十六 第十八號改正法律案(政府提出衆議院送付)

第一 論會

第十七 第十九號改正法律案(政府提出衆議院送付)

第一 論會

第十八 第二十號改正法律案(政府提出衆議院送付)

第一 論會

第十九 第二十一號改正法律案(政府提出衆議院送付)

第一 論會

第二十 第二十二號改正法律案(政府提出衆議院送付)

第一 論會

第一 論會